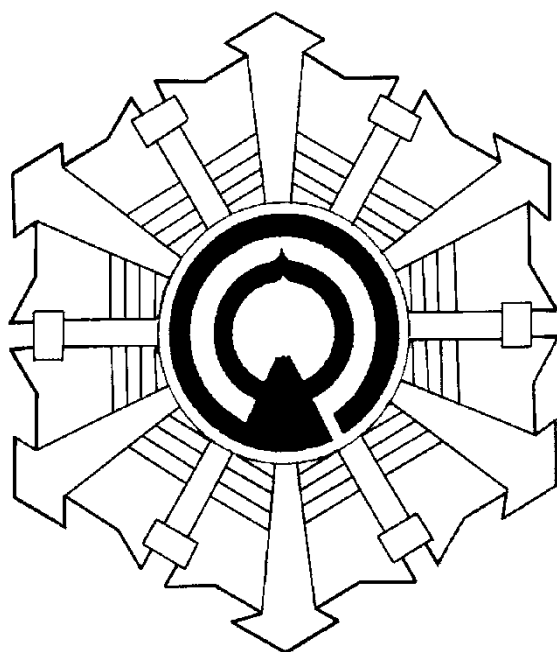


# 消防年報

令和4年版



御殿場市・小山町広域行政組合消防本部

令和5年刊行

# ま え が き

この年報は、御殿場市と小山町の消防業務及び消防現勢を収録し、今後の消防行政の合理的な運営と消防力の強化育成の資とするため編集しました。

編集については、資料選定、内容の改善に努めておりますが、今後も皆様のご指導を仰ぎ、さらに内容の充実を図りたいと考えております。

統計は、暦年となっておりますが、表中特に明示されたものは、その時点での現況となっております。

令和5年6月

御殿場市・小山町広域行政組合消防本部

# 目 次

<b>1 管内の概要</b>	
御殿場市と小山町のすがた	4
消防本部・消防署の沿革	5
主な災害	1 2
御殿場市・小山町広域行政組合の沿革・組織	1 7
消防本部発足以降歴代市長・管理者・消防長・消防署長	1 8
御殿場市・小山町歴代消防団長	2 0
<b>2 総 務</b>	
御殿場市・小山町の位置・地勢	2 2
消防庁舎の現況	2 2
管内消防機関配置図	2 3
消防本部・消防署組織機構図	2 4
分掌事務	2 5
消防本部・消防署別職員配置状況	2 7
職員年齢状況	2 7
職員勤続年数状況	2 8
職員任用状況	2 8
派遣等の状況	2 8
令和5年度常備消防費当初予算（歳入・歳出）	2 9
相互応援協定等の締結状況（県内協定・県外協定・その他・消防団協定）	3 0
<b>3 予 防</b>	
[防火対象物]	
防火対象物現況数	3 2
用途構造別建築同意件数	3 3
立入検査実施状況	3 4
管内5階以上の建築物一覧	3 5
消防用設備等設置状況	3 7
火災予防条例による届出件数	3 8
枯草処置指導件数	3 8
月別煙火許可件数	3 8
[危険物]	
類別危険物施設数	3 9
数量別危険物施設数	3 9
業態別危険物施設の状況	4 0
危険物関係届出状況	4 1
危険物施設許可・完成検査件数	4 2
過去10年間の許可・完成検査・廃止届出件数の推移	4 2
申請手数料収入状況	4 2
[予防広報]	
広報活動の概要	4 3
高齢者の防火訪問診断実施状況	4 4
防火指導・講習・訓練実施状況	4 4
救命講習会実施状況	4 4
甲種防火管理者資格取得講習会受講者数	4 4
甲種防火管理者再講習会受講者数	4 4
[外郭団体]	
御殿場市小山町防火安全協会	4 5
御殿場小山幼年防火委員会	4 6

<b>4 警 防</b>		
消防本部・消防署配置車両	.....	4 8
救助資機材整備状況	.....	4 9
令和5年度水防費・災害対策費当初予算額	.....	5 0
消防水利現況（御殿場市・小山町）	.....	5 1
<b>5 通 信</b>		
高機能消防指令システム系統図	.....	5 4
通信系統図	.....	5 5
無線系統図	.....	5 5
デジタル無線陸上移動局・携帯局	.....	5 6
無線基地局	.....	5 7
陸上移動局（防災相互通信波）	.....	5 7
通信施設・電話	.....	5 8
火災報知専用電話・携帯電話別 1 1 9 番受付回数	.....	5 8
<b>6 火災統計</b>		
火災概要	.....	6 0
過去10年間の火災発生状況の推移	.....	6 0
市町等別火災発生状況	.....	6 1
地区別火災発生状況	.....	6 1
月別火災発生件数	.....	6 1
時間別火災発生件数	.....	6 2
覚知別火災発生件数	.....	6 2
原因別火災発生件数	.....	6 2
<b>7 救急・救助統計</b>		
月別・事故種別救急活動状況	.....	6 4
地区別・事故種別出動件数及び搬送人員	.....	6 5
地区別・傷病程度別・性別搬送人員	.....	6 5
署別・月別出動件数及び搬送人員	.....	6 6
署別・曜日別出動件数及び搬送人員	.....	6 6
曜日別・事故種別救急活動状況	.....	6 6
時間別・事故種別出動件数	.....	6 7
年齢別・性別・事故種別搬送人員	.....	6 7
傷病程度別・性別・事故種別搬送人員	.....	6 8
救急出動10年間の推移	.....	6 8
東名高速道路月別・事故種別出動件数	.....	6 9
東名高速道路傷病程度別・事故種別搬送人員	.....	6 9
東名高速道路救急出動10年間の推移	.....	6 9
救助業務実施状況	.....	7 0
救助業務事故種別・曜日・祝日等別出動件数	.....	7 0
時間別救助出動状況	.....	7 0
<b>8 消防団</b>		
御殿場市消防団沿革	.....	7 2
小山町消防団沿革	.....	7 3
消防団機構図（御殿場市・小山町）	.....	7 4
令和5年度非常備消防費当初歳出予算	.....	7 5
消防団員階級別年齢	.....	7 6
消防団員階級別勤続年数	.....	7 6
出動報酬	.....	7 7
年額報酬	.....	7 7
消防団編成及び装備	.....	7 7
消防団車両配備	.....	7 8

# 1 管内の概要



(御殿場市・小山町広域行政組合消防本部庁舎及び車両)

## 御殿場市と小山町のすがた

西に霊峰富士を仰ぎ、東に箱根外輪山・北に丹沢山地に囲まれた美しい自然と緑豊かな高原に御殿場市と小山町がある。

この地に人類が住みついたのは、6～7千年前の縄文時代といわれ、遺跡からは土器や住居跡が多数発見されている。この地は度重なる富士山の噴火による、苦難な歴史の中で集落ができたと思われる。歴史に残る宝永4年の大噴火により、大量に降った砂は、富士山麓を3メートル～6メートルの深さで覆い尽くすという大災害となった。この大災害は、時の関東郡代伊奈半左衛門の活躍により復旧がなされ、その功績は大きく後の世にも語り継がれている。

鎌倉時代には、源頼朝によって巻狩が富士の裾野一帯で行われた。この巻狩に因んだ多くの伝説や地名が管内各地に残っている。

戦国時代には、交通の重要地点であったので、目まぐるしい攻防が行われた。何度か領主が変わった後、寛永10年には小田原藩に組み込まれた。宝永4年の富士山噴火以降一時期幕府領となったが、噴火から40年後に小田原藩領に復帰した。

明治維新後駿府に編入され、明治4年の廃藩置県が実施されると、駿府藩は静岡県となった。

昭和28年の町村合併促進法により、現在の御殿場市と小山町が生まれた。

昔、富士講と呼ばれた人達が富士山に登ったが、明治22年に東海道線開通で御殿場駅が設置されると、夏の登山期には、御殿場口、須走口は全国からの富士登山者で賑わった。今では御殿場口は新五合目まで車で直行し、須走口はマイカー規制によりバス・タクシー等の交通機関を利用した登山が主になっている。

管内は富士・箱根・伊豆国立公園の国際観光地の中心地にあり、東名高速道路、新東名高速道路、国道246号線、国道138号線、国道469号線、東富士五湖道路といった幹線道路が通っている。こうした交通の要所であるため交通渋滞がしばしば発生している。

地形としては、御殿場市のほぼ中央が南北の分水嶺となり、霊峰富士の雪どけ水は、それぞれ相模湾と駿河湾に注いでいる。

管内には広大な大野原といわれている大草原を有しており、古くは源頼朝の富士の巻狩に、明治後期からは旧日本陸軍の演習場として使用されていた。昭和34年に東富士演習場使用協定が結ばれ、現在、演習場は自衛隊が使用し、陸上自衛隊富士学校のほか3つの駐屯地があり自衛隊の街として知られている。同時に周辺住民の生活環境改善事業が行われている。

産業経済では、明治29年に小山町で富士紡績が創設され、その後自然環境に恵まれた御殿場市や小山町に多数の工場が進出し、研修施設、保養所等が建設された。更に、駒門工業団地、神場工業団地、富士御殿場工業団地、板妻南工業団地、富士小山工業団地、ハイテクパーク富士小山、富士山麓フロンティアパーク等の工業団地や研修所施設を中心とした御殿場市と小山町にまたがる東富士リサーチパークの開発も進んでいる。レジャー産業の一つであるゴルフ場も多く御殿場市に9ヶ所、小山町に10ヶ所の合計19ヶ所がある。

日本が誇る富士山、その麓に位置する御殿場市では富士山が与えてくれる豊かな自然環境に調和し、さらにこれを育むまちづくりと、雄大な富士山にふさわしい、心が大きくて思いやりのある人づくりを進め、だれもが生きがいと誇りを持って暮らすことができる、人と環境が共生するまちを将来都市像「緑きらきら、人いきいき、御殿場」として表している。小山町では「富士のふもと 人々のふれあう心豊かなふるさと・おやま」をテーマに、先人が守り育ててきた富士山をはじめとする豊かな自然や歴史を町の誇りとし、人と人、人と自然などのふれあいをとおして、美しい自然を守り、快適な町民生活と特色ある文化を創造していくことを目標としている。

特産物では、富士山の雪どけ水を利用した水かけ菜は全国的に知られ、良質なわさびも栽培されている。

気候は、夏涼しく東海の軽井沢といわれ、快適な生活を過ごすことができる。

また、雨量と霧が多いことが原因で湿度が高く、山に囲まれているため天候が変わりやすく、この地方だけに雨が降ることも多い。この現象は昔から「みくりやのわたくし雨」と呼ばれている。

## 消防本部・消防署の沿革

昭和40.	4.	1	政令指定により、御殿場市萩原483番地に御殿場市消防本部・消防署を設置、御殿場市助役が消防長に就任し、職員33名（職員定数36名）指令車1台、消防ポンプ自動車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台で業務開始
	5.	1	消防職員2名採用
昭和41.	4.	1	消防職員1名採用、職員数36名（職員定数36名）
昭和42.	4.	1	消防職員1名採用、職員数36名
	10.	1	消防職員4名採用、職員数40名（職員定数40名）
	11.	1	救急自動車（救急1号車）1台を購入、救急業務開始 小山町と救急業務に関する協定を締結し、小山町の救急業務開始
昭和43.	1.	1	消防職員1名採用
	4.	1	社団法人日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台が寄贈される
	6.	1	消防職員1名採用
	7.	11	財団法人日本消防協会から救急自動車（救急2号車）1台が寄贈され消防署に配置
昭和44.	3.	20	東名高速道路（御殿場～沼津インターチェンジ間の下り線）の救急等消防業務開始
	4.	1	消防職員10名採用、職員数49名（職員定数50名）
	4.	10	消防職員1名採用、職員数50名
	4.	13	社団法人日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台が寄贈される
	5.	26	東名高速道路（御殿場～大井松田インターチェンジ間の上り線）の救急等消防業務開始
昭和45.	4.	1	消防職員3名採用、職員数49名
昭和46.	4.	1	小山町との厚生施設組合を改組し、新たに常備消防業務を含めて御殿場市・小山町広域行政組合を設立 消防職員3名採用、職員数50名（職員定数72名）
昭和47.	1.	1	消防職員5名採用
	2.	1	消防職員6名採用
	4.	1	消防職員10名採用、職員数71名 御殿場市役所新庁舎開庁、併せて御殿場市・小山町広域行政組合新消防庁舎開庁、消防本部・消防署の業務開始 駿東郡小山町菅沼359番地の2に御殿場市・小山町広域行政組合消防署小山分署を設置、職員18名、消防ポンプ自動車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、指令車1台で業務開始
	4.	5	指令車1台と作業車1台を購入
	4.	21	社団法人日本損害保険協会から救急自動車（救急1号車）1台が寄贈され本署に配置
昭和48.	4.	1	消防職員4名採用、職員数71名
	7.	1	消防職員1名採用
	12.	19	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入、本署に配置
昭和49.	2.	19	救助工作車1台を購入、本署に配置
	4.	1	消防職員4名採用、職員数76名（職員定数76名）
	5.	30	本署救急自動車（救急1号車）1台更新
	6.	1	本署救急自動車（救急1号車・救急2号車）の名称入替変更
	9.	28	本署消防ポンプ自動車更新
	10.	1	富士岡地区の消防業務充実のために分遣所設置決定、設置されるまでの期間仮設待機所を建設、職員3名、水槽付消防ポンプ自動車を昼間のみ配置して業務開始

- 昭和50. 4. 1 消防職員6名採用、職員数82名（職員定数82名）  
 社団法人日本損害保険協会から救急自動車（救急1号車）1台が寄贈され本署  
 救急自動車（救急1号車）を更新  
 更新前本署救急自動車を（救急3号車）として配置
9. 1 水難救助機器を購入
9. 17 本署水槽付消防ポンプ自動車更新
12. 17 小山分署指令車を広報車（広報2号車）として本部に配置  
 駿河信用金庫から指令車2台が寄贈され、消防本部（更新）と小山分署に配  
 置
- 昭和51. 3. 19 消防本部広報車（広報1号車）更新
4. 1 消防音楽隊を編成
6. 21 消防水難救助隊を編成
7. 8 化学消防ポンプ自動車を購入し、本署に配置
10. 1 御殿場市中山473番地の1に御殿場市・小山町広域行政組合消防署富士岡  
 分遣所を設置、職員10名、水槽付消防ポンプ自動車1台で業務開始
- 昭和52. 4. 1 消防職員4名採用、職員数84名（職員定数86名）
- 昭和53. 1. 1 消防職員1名採用
3. 7 消防庁長官から竿頭授受賞
3. 20 救急一斉指令装置を導入、運用開始
4. 1 通信指令室及び管理課企画広報係を新設
8. 1 日本テトラパック㈱から赤バイ2台が寄贈され、本署に配置
8. 29 財団法人日本船舶振興会から救急自動車1台寄贈され、小山分署救急自動車  
 を更新
9. 28 富士岡分遣所に作業車を配置  
 小山分署に作業車を配置
10. 1 本署に作業車を配置
- 昭和54. 4. 1 消防職員5名採用、職員数90名（職員定数91名）
4. 1 当直司令制度運用開始
7. 24 静岡県トラック協会から救急自動車1台が寄贈され、本署救急自動車（救急  
 2号車）を更新更新前救急自動車（救急2号車）を予備車として富士岡分遣所  
 に配置
8. 8 消防本部広報車（広報2号車）更新
10. 1 富士岡分遣所に職員2名増員  
 富士岡分遣所で救急業務開始
- 昭和55. 4. 1 消防職員13名採用、職員数102名（職員定数103名）
11. 1 小山町須走293番地の1に御殿場市・小山町広域行政組合消防署須走分遣  
 所を設置、職員13名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、連絡  
 車1台で業務開始  
 各分遣所長を補佐級とする  
 富士岡分遣所の職員を1名増員  
 東海精機㈱から自記気象観測装置と消防無線機が寄贈される
12. 19 高所放水作業車を購入、本署に配置
- 昭和56. 9. 21 社団法人日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台が寄贈され小山  
 分署水槽付消防ポンプ自動車を更新
10. 31 本署救急自動車（救急1号車）と富士岡分遣所救急自動車を更新
11. 16 小山分署消防ポンプ自動車更新
- 昭和57. 1. 1 消防職員1名採用
3. 23 社団法人日本損害保険協会から救急自動車1台が寄贈され、小山分署救急自  
 動車を更新
4. 1 消防本部・消防署組織の機構改革実施、本部は管理課（管理係・消防係・企



			画広報係)・予防課(予防係・指導係・危険物係)・警防課(警防係・教養係)で構成、消防署は本署(庶務係・機械係・査察係・救急救助係・通信指令係)と、消防署小山分署、消防署富士岡分遣所、消防署須走分遣所で構成 本署当直に当直司令制採用、補佐が当直司令に当たる
	10.	19	財団法人日本防火協会から御殿場市小山町防火協会に広報車が寄贈され、消防本部広報車(広報3号車)として配置
昭和58.	2.	22	米軍キャンプ富士(滝ヶ原)司令官と消防相互援助協約を締結
	11.	1	富士岡分遣所水槽付消防ポンプ自動車更新
昭和59.	1.	1	消防長が専任となる
	4.	1	消防職員2名採用、職員数103名(職員定数103名)
	12.	21	本署消防ポンプ自動車更新
昭和60.	4.	1	消防職員3名採用、職員数106名(職員定数111名)
	12.	9	消防本部指令車更新
	12.	25	小山分署作業車更新
昭和61.	1.	14	本署作業車更新
	3.	14	社団法人日本損害保険協会から救急自動車1台が寄贈され、本署救急自動車(救急2号車)更新
	4.	1	消防職員4名採用、職員数108名 消防本部に通信指令室を置き、管理課消防係を警防課に編入、消防署機械係を警防係に名称変更
	6.	20	富士岡分遣所の作業車更新
	8.	29	査察車を1台購入、予防課に配置
昭和62.	3.	12	米軍キャンプ富士(滝ヶ原)司令官と消防相互援助協約を変更締結
	3.	30	本署水槽付消防ポンプ自動車更新
	4.	1	消防職員5名採用、職員数114名(職員定数119名) 消防本部管理課に人事係新設
	4.	24	本署水槽付消防ポンプ自動車更新により不要になった水槽付消防ポンプ自動車を中国蘭州市へ寄贈
	12.	1	消防職員1名採用
	12.	24	本署救急自動車(救急1号車)、消防本部広報1号車更新 東名高速道路(御殿場～沼津インターチェンジ間の下り線)の消防及び救急業務が裾野インターチェンジ開設に伴い御殿場～裾野インターチェンジ間の下り線に変更される
昭和63.	4.	1	消防職員3名採用、職員数(御市総務課付職員1名含)116名
	7.	23	赤バイ2台を老朽化により廃車
	10.	21	須走分遣所救急自動車更新
	11.	29	東名上り線63KPで発生した車両火災(06:32)に出動中の本署水槽付消防ポンプ自動車が後続車に追突され横転大破、消防職員5名が負傷
	12.	17	小山分署指令車更新
平成元.	1.	7	消防本部広報車(広報2号車)更新
	4.	1	消防職員1名採用、職員数(御市総務課付職員1名含)116名 小山分署で小山町消防団事務開始
	6.	29	本署水槽付消防ポンプ自動車更新
平成2.	2.	14	本署救助工作車更新
	3.	22	富士岡分遣所救急自動車更新
	4.	1	消防職員5名採用、職員数(御市総務課付職員1名含)120名
	9.	25	須走分遣所連絡車更新
平成3.	3.	12	本署化学消防ポンプ自動車更新
	3.	15	小山分署救急自動車更新
	4.	1	消防職員4名採用、職員数(御市総務課付職員1名含)120名

		9. 1 2	社団法人日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台が寄贈され、富士岡分遣所水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成	4.	2. 1 0	本署救急自動車（救急1号車）更新
		3. 1 9	小山分署水槽付消防ポンプ自動車更新
		4. 1	消防職員1名採用、職員数（御市総務課付職員1名含）120名
		8. 3 1	新消防庁舎工事起工式
平成	5.	3. 1 5	本署救急自動車（救急2号車）更新
		3. 2 2	須走分遣所水槽付消防ポンプ自動車更新
		4. 1	消防職員2名採用、職員数（御市総務課付職員1名含）122名（職員定数134名）
			完全週休2日制実施
平成	6.	4. 1	御殿場市と係長級1名の人事交流を実施
			消防職員7名採用、職員数（御市総務課付職員1名含）126名
		4. 2	御殿場市東田中一丁目19番1号に消防庁舎が移転し、業務開始
			消防緊急通報指令施設（Ⅱ型）運用開始
			静岡県総合情報ネットワーク運用開始
		4. 2 2	御殿場市小山町危険物安全協会、御殿場市小山町防火協会から広報車1台寄贈され消防本部広報車（広報3号車）更新
		4. 2 8	消防庁舎落成式
		7. 2 7	消防無線救急波の運用開始
		1 1. 1 8	はしご付消防ポンプ自動車（30m級）を購入し、本署に配置し本署高所放水作業車廃車
平成	7.	1. 3 1	小山分署消防ポンプ自動車更新
		4. 1	消防職員6名採用、職員数（御市総務課付職員1名含）131名
		6. 3 0	全国消防機関による緊急消防援助隊発足（東京）
		7. 3 1	化学防護服（ワークマスタープロ）3着購入
		8. 2 0	聴覚言語障害者の緊急通報システム運用開始
		8. 2 2	静岡県緊急消防援助隊の編成にかかる協議の結果、御殿場小山消防本部は、消火隊1隊を県外応援可能隊とする
		9. 5	静岡県は、緊急消防援助隊を編成し消防庁に登録 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部消火隊は、常時出動可能体制維持開始
		1 0. 1 8	震災対策用後方支援資機材（テント・シュラフ等）購入
		1 0. 1 9	特殊作業服（戦闘用防護衣一式）12着購入
		1 0. 3 0	緊急消防援助隊要綱制定 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部に部隊旗が交付
		1 1. 2 7	小山分署作業車更新
平成	8.	3. 1 1	本署消防ポンプ自動車更新
		3. 2 2	震災対策用救助資機材（油圧救助器具等）購入
		4. 1	消防職員5名採用、職員数（御市総務課付職員1名含）133名（職員定数150名）
			東名高速道路上り線無線不感地帯対策として前進基地局整備
		6. 5	富士岡分遣所連絡車更新
		7. 2	震災対策用救助資機材（ファイバースコープ等）購入 災害情報収集用オートバイ2台購入
		7. 3 1	消防本部指令車更新
		8. 3 1	静岡県総合防災訓練
		9. 1	静岡県総合防災訓練
平成	9.	2. 1 3	小山分署庁舎増築工事 259.24㎡
		2. 1 8	須走分遣所救急車（2B型）更新

	4.	1	消防職員4名採用、職員数(御市総務課付職員1名含) 137名
	6.	20	西分遣所庁舎建設工事起工式
平成10.	1.	25	西分遣所応急作業車購入
	2.	12	西分遣所水槽付消防ポンプ自動車購入
	2.	23	西分遣所救急車(2B型)購入
	3.	14	西分遣所庁舎建設工事落成式
	4.	1	消防職員8名採用(内女性2名)、職員数(御市総務課付職員1名含) 144名
			西分遣所運用開始、職員15名配置
平成11.	11.	30	富士岡分遣所庁舎耐震補強及び事務所増築工事16.71㎡
	3.	16	小山分署救助工作車購入
	4.	1	消防職員4名採用、職員数(御市総務課付職員1名含) 147名
			消防本部・消防署の組織改革により課内のスタッフ制全面移行
	8.	18	消防本部査察車更新
平成12.	12.	21	須走分遣所庁舎耐震補強及び事務所増築工事17.57㎡
	2.	24	高規格救急自動車を購入し本署に配置、更新前の救急車を富士岡分遣所に配置し、富士岡分遣所の救急自動車を廃車
	4.	1	消防職員3名採用(内女性1名)、職員数(御市総務課付職員1名含) 149名
	11.	15	社団法人日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台が寄贈され、本署水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成13.	3.	16	小型動力ポンプ付水槽車を購入、本署に配置
	4.	1	消防職員6名採用、職員数(御市総務課付職員1名含) 150名
	12.	14	小山分署指令車更新
	12.	15	小山分署耐震補強工事完了
	12.	21	本部広報1号車更新
平成14.	4.	1	消防職員3名採用、職員数(御市総務課付職員1名含) 150名
			消防機構を見直し、小山分署を小山消防署とし、富士岡分遣所を富士岡分署とし、須走分遣所を須走分署とし、西分遣所を西分署とする
	9.	4	須走分署作業車更新
平成15.	11.	19	消防本部広報2号車更新
	2.	26	小山消防署救急車更新(高規格救急車)
	4.	1	消防職員3名採用、職員数(御市総務課付職員1名含) 148名御殿場市役所派遣1名
平成16.	3.	10	御殿場消防署富士岡分署救急車更新(高規格救急車)
	4.	1	消防職員5名採用、職員数148名(御殿場市役所派遣1名)
平成17.	2.	7	御殿場消防署救助工作車更新(Ⅱ型四駆)
	4.	1	消防職員2名採用、職員数147名(御殿場市役所派遣1名)
	12.	20	御殿場ライオンズクラブから火災予防広報車が寄贈され、消防本部連絡車を更新
平成18.	2.	16	御殿場消防署西分署救急車更新(高規格救急車)
	3.	15	小山消防署訓練塔建設、A・B塔、建築面積61.6㎡
	4.	1	消防職員7名採用、職員数147名(静岡県消防学校派遣1名)
平成19.	2.	16	御殿場消防署富士岡分署水槽付ポンプ自動車更新
	3.	9	小山消防署水槽付ポンプ自動車更新
	4.	1	消防職員5名採用、職員数149名(静岡県消防学校派遣1名)
平成20.	3.	13	小山消防署須走分署水槽付ポンプ自動車更新
	4.	1	消防職員3名採用、職員数148名(御殿場市役所派遣1名)(職員定数155名)
			須走彰徳山林会からAED及びAED講習会用資器材一式が寄贈される

平成21.	1 1.	1 1	御殿場市小山町防火安全協会から防火指導車が寄贈される
	4.	1	消防職員4名採用、職員数150名（御殿場市役所派遣1名）
平成22.	1 2.	1 1	小山消防署作業車更新
	3.	1 6	消防緊急通信指令施設Ⅱ型更新
	4.	1	消防職員5名採用、職員数152名（御殿場市役所派遣1名）
	1 0.	2 2	小山消防署須走分署救急車更新（高規格救急車）
	1 1.	1 5	全国共済農業協同組合連合会静岡県本部及び御殿場農業協同組合から救急車が寄贈され、御殿場消防署救急1号車を更新（高規格救急車）
平成23.	2.	2 4	御殿場消防署化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）更新
	4.	1	消防職員4名採用、職員数151名（御殿場市役所派遣1名）
平成24.	2.	8	御殿場消防署救急車更新（高規格救急車）
	3.	1	静岡県防災ヘリコプター航空隊派遣1名
	4.	1	消防職員4名採用、職員数153名（御殿場市役所派遣1名）
	7.	3 0	消防本部査察車更新
平成25.	2.	2 2	小山消防署救急車更新（高規格救急車）
	2.	2 7	総務省消防庁から後方支援車が貸与された
	4.	1	消防職員5名採用、職員数155名（御殿場市役所派遣2名）
平成26.	2.	2 1	小山消防署消防ポンプ自動車更新
	2.	2 5	御殿場消防署富士岡分署救急車更新（高規格救急車）
	3.	4	土屋昌美様から軽貨物自動車が寄贈され、御殿場消防署富士岡分署作業車を更新（ダイハツ軽トラック1台）また、救急資機材も寄贈された（エアウエイスコープ2台）
	3.	3 1	団塊の世代、消防職員10名が退職する
	4.	1	消防職員5名採用、職員数151名（御殿場市役所派遣1名）
平成27.	2.	1 8	御殿場消防署消防ポンプ車更新
	4.	1	消防職員6名採用、職員数151名（御殿場市役所派遣2名）
	1 2.	1 5	消防デジタル無線運用開始
平成28.	4.	1	消防職員6名採用、職員数153名（御殿場市役所派遣2名）
	1 1.	1 6	消防本部指令車更新
平成29.	2.	2 0	御殿場消防署西分署水槽付ポンプ自動車更新
	4.	1	消防職員6名採用（内女性1名）、職員数153名（御殿場市役所派遣1名、広域行政組合事務局出向1名）（職員定数160名）
平成30.	2.	7	小山消防署救助工作車更新
	2.	1 5	御殿場消防署指揮車更新
	4.	1	消防職員8名採用、職員数152名（御殿場市役所派遣1名、広域行政組合事務局出向1名）
	6.	1 5	小山消防署須走分署作業車更新
平成31.	1.	1 7	消防本部予防課広報車更新
	1.	3 0	御殿場消防署西分署救急車更新
	4.	1	消防職員4名採用、職員数153名（御殿場市役所派遣1名、広域行政組合事務局出向1名、五輪組織委員会派遣1名、県消防学校派遣1名）
令和 2.	1.	2 8	御殿場消防署水槽付消防ポンプ自動車更新
	2.	6	御殿場消防署作業車を更新し、資機材搬送車を整備
	4.	1	消防職員8名採用、職員数159名（再任用職員1名、御殿場市役所派遣1名、広域行政組合事務局出向1名、五輪組織委員会派遣1名、県消防学校派遣1名）
令和 3.	1.	2 8	御殿場消防署救急車更新
	4.	1	消防職員3名採用、職員数161名（再任用職員1名、御殿場市役所派遣1名、広域行政組合事務局出向1名、五輪組織委員会派遣1名、県消防学校派遣1名）（職員定数182名）

- 令和 4. 2. 25 御殿場消防署はしご付消防ポンプ自動車更新
- 4. 1 消防職員4名採用、職員数164名（再任用職員2名、御殿場市役所派遣1名、広域行政組合事務局出向1名）
- 令和 5. 2. 15 御殿場消防署救急車更新
- 令和 5. 3. 1 静岡県防災ヘリコプター航空隊派遣1名
- 令和 5. 4. 1 消防職員10名採用、職員数166名（再任用職員3名、御殿場市役所派遣1名、静岡県庁派遣1名）



(御殿場救急2号車)

## 主な災害

- 昭和41. 3. 5 富士山麓太郎坊原野に英国海外航空（BOAC）ボーイング707型機が墜落し乗員乗客124名全員死亡
9. 24～25 台風24号と26号が日本列島を縦断する、御殿場市の被害は負傷者2名、住家全壊6戸、半壊382戸、床下浸水多数、罹災世帯2,231世帯、罹災者11,155名、被害総額6億9,109万円  
御殿場市に初めて「災害救助法」適用  
小山町では家屋の倒壊15戸、床下浸水17戸、田畑の流出・埋没33ヶ所、被害総額は3,062万円
- 昭和43. 1. 10 御殿場市新橋（御殿場駅前繁華街）から出火、重軽症者8名、焼損棟数18棟、焼失面積1,106㎡、損害額8,006万円
- 昭和45. 11. 2 御殿場市川島田の中学校から出火、焼失面積560㎡、損害額1,435万円
- 昭和46. 9. 22 御殿場市東田中の給油取扱所から出火、死者1名、重軽傷者3名、焼失面積207㎡、損害額821万円
11. 1 御殿場市駒門（自衛隊前飲食店街）から出火、死者1名、焼損棟数6棟、焼失面積623㎡、損害額3,017万円
- 昭和47. 2. 1 東名高速道路下り線94.5KPで、車両37台の多重追突事故により出火死者2名、重軽傷者31名、焼損車両7台、損害額5,500万円
3. 20 富士山新2合目付近の雪崩遭難事故により、死者24名、延べ出動人員約4,000名、現場稼働車両等65台
7. 12 静岡県東部に集中豪雨、御殿場市では床上・床下浸水138世帯、田畑の流出冠水等672ha、被害総額2億5,393万円  
小山町では死者2名、災害出動中の消防団員1名が行方不明、負傷者8名、住家全壊29戸、流失4棟、非住家全半壊18戸、床上浸水210戸、罹災世帯250世帯、罹災者数1,713名、被害総額23億306万円
- 昭和48. 11. 23 小山町大御神のレース場でレーシングカー事故により出火死者1名、負傷者4名、レーシングカー全焼4台損害額2億3,679万円
- 昭和49. 6. 2 小山町大御神のレース場でレーシングカー事故により出火死者2名、負傷者5名、レーシングカー4台全焼、レーシングカー3台部分焼、損害額4,328万円
- 昭和50. 12. 4 御殿場市大坂の工場（スチール家具製造）から出火、焼失面積1,440㎡、損害額1億2,500万円
12. 12 御殿場市大坂の工場（シール製造）から出火、機械等を焼失、焼失面積320㎡、損害額3,000万円
- 昭和53. 1. 1 御殿場市中清水の神社より出火、焼失面積79㎡、損害額1,900万円
3. 25 御殿場市新橋（新天地OK横丁）から出火、15店舗及び1旅館が焼失、焼失面積777㎡、損害額4,500万円
- 昭和54. 2. 18 御殿場市新橋（御殿場駅前味一番街）から出火、7店舗焼失、焼失面積316㎡、損害額1,604万円
10. 19 台風20号による御殿場市の被害は、住宅全壊10戸、半壊4戸、流失1戸床上浸水42戸、床下浸水810戸で、総雨量300mm、損害額23億394万円  
この豪雨で米軍キャンプ富士敷地内のガソリン貯蔵袋が破損し、大量のガソリンが立ち並ぶ兵舎内に流入し、ストーブの火により出火、隣接する建物に次々に引火し、死傷者約50名、焼損棟数全焼14棟、半焼1棟、部分焼3棟、延焼失面積1,385㎡、損害額2,982万円  
小山町の被害は、死者1名、住家全壊5戸、半壊2戸、一部破損3戸、非住

			家全壊4戸、半壊3戸、流失3戸、一部破損1戸、床上浸水33戸、床下浸水129戸、損害総額27億4,823万円、総雨量237mm
	12.	15	御殿場市新橋（駅前中野交差点付近商店街）から出火、焼失5店舗、焼失面積1,342㎡、損害額1億7,000万円
昭和55.	7.	24	小山町小山の工場（紡績）で落雷により出火、焼失面積135㎡、損害額3,378万円
昭和56.	9.	5	陸上自衛隊のヘリコプターが御殿場市中畑地先の演習場内に墜落2名死亡
昭和57.	6.	8	神奈川県大井町へ行方不明者捜索出動、他57年中に5件の行方不明者の捜索出動
	8.	1	台風10号による御殿場市の被害は、住家半壊5戸、一部破損1戸、床上浸水21戸、床下浸水107戸、損害総額18億530万円、総雨量555mm 小山町の被害は住家全壊2戸、住家半壊3戸、一部破損35戸、床上浸水7戸、床下浸水84戸、損害総額36億9,850万円、総雨量457mm
昭和58.	3.	11	小山町茅沼の公民館から出火、焼損棟数1棟、焼失面積106㎡、損害額1,152万円
	8.	8	神奈川県西部を震源に、M5.8、震度5程度の地震が発生、御殿場市では家屋及び石垣等の被害4ヶ所、小山町では軽傷者1名、家屋道路、橋梁、河川、農業施設、農地、文教公共施設、水道、電気通信、企業等157ヶ所の被害、被害総額4億4,775万円
昭和59.	9.	28	御殿場市茱萸沢の工場で100円ガスライターのガス漏洩により出火、焼損棟数3棟、焼失面積362㎡、ライター164万個焼失、損害額5,512万円
昭和60.	5.	5	御殿場市茱萸沢の工場から出火、焼損棟数1棟、焼失面積427㎡、ライター216万個焼失、損害額9,031万円
	12.	13	御殿場市保土沢の工場（車両座席シート製造）から出火、焼損棟数1棟、焼失面積189㎡、損害額2,836万円
昭和61.	3.	8	小山町須走でトラックの積載品が荷くずれ落下し、積載品100円ガスライターのガス漏洩により出火、焼損車両1台、ライター15万6千個を焼失、損害額486万円
昭和63.	10.	25	小山町須走の東富士五湖道路籠坂トンネル工事現場で、時限発火装置により出火、工事車両3台が焼失、損害額268万円
	10.	28	御殿場市沼田の集会場から出火、焼失面積84㎡、損害額1,065万円
	11.	4	御殿場茱萸沢でトラックが荷くずれを起こし、積載品の100円ガスライターからの漏洩したガスにより出火、焼損車両1台、ガスライター13万6千個を焼失、損害額343万円
平成	3.	6.22	御殿場市川島田の作業所（車庫）で不発弾の爆発事故、この事故に伴い出火死者2名、現場付近にいた主婦等3名が負傷、焼損棟数全焼1棟、付近の民家14戸の窓ガラスが割れる被害、焼失面積199㎡、損害額2,132万円
平成	7.	4.20	金時山頂で急病人、救助隊が出動、救出活動（救出1名）
	6.	1	金時山頂付近で中学生滑落事故、救助隊が出動、県警・防災ヘリコプターと連携し救出（救出1名）
	8.	10	東名高速道路上り線64.9KPで発生した交通事故で、大型観光バスが大破、バスの乗員乗客43名（死者3名、重軽症者40名）を足柄上消防、神奈川県警高速隊、道路公団と連携し救出（使用車両20台、人員45名）
平成	8.	3.6	東京電力（株）新富士変電所で地震動により変圧器から絶縁油が漏れアークにより出火、損害額2,200万円
平成11.	11.	15	御殿場市萩原地先で建設中の木造3階建て教場及び共同住宅から出火、焼損棟数1、焼損面積1,950㎡、車両16台焼失、損害額6億413万円
平成12.	12.	16	御殿場市神山地先から出火、鉄骨造平屋2棟を焼失、焼損棟数2棟焼損面積356.4㎡、車両1台、損害額3,075万円

- 1 2. 3 0 小山町小山地先の店舗併用住宅から出火、焼損建物店舗併用住宅3棟、物置2棟を焼失、焼損面積440.94㎡、損害額2,472万円
- 平成13. 7. 24 鉄砲水の久保川で富士岡中学校生徒1名が行方不明、消防団、消防署、県防災ヘリコプターが出動、捜索（捜索人員延べ530名）
7. 25 水難救助隊により、水死者1名を発見収容
- 平成14. 3. 1 平成13年9月11日、米国の同時多発テロ事件に伴い、総務省消防庁より生物・化学テロ対応資機材として陽圧式化学防護服5着、生物剤検知紙1式、有毒ガス検知管1式、化学剤検知紙1式、化学剤検知管1式、除染シャワー1式、中和剤散布器2器、防毒マスク18式を貸与
- 平成15. 5. 3 御殿場市中畑で不発弾爆発事故、死者1名
- 平成16. 1. 14 国道246号線、萩原北交差点付近にて大型貨物自動車8台による多重追突事故、救助工作車2台、ポンプ隊（水槽付消防ポンプ車）2隊、救急隊5隊、隊員25名が出動し、4名の要救助者を救出
10. 21 御殿場市深沢地先、のんと橋、台風23号の影響で男性1名が水死、救助工作車1台、消防ポンプ自動車1台、指令車1台、資機材搬送車1台、救急車1台、隊員24名が出動
12. 5 台風27号の影響で御殿場市塚原地先にて家屋が倒壊、負傷者3名、救急隊1隊3名が出動  
平成16年の台風上陸個数は、気象庁の統計開始以来の記録（6個）を大きく更新し10個を記録
- 平成17. 8. 15 富士山御殿場口、大石茶屋付近にてパラグライダーが墜落、指揮車1台救急車1台、山岳救助班2隊が出動
9. 13 国道138号線、仁杉バス停付近にて自衛隊トレーラーによる多重追突事故救助工作車1台、化学車1台、救急車5台が出動し負傷者12名を搬送
- 平成18. 4. 2 東名高速道路下り線91.1KP付近にて9台が関連した多重事故、救助工作車2台、消防ポンプ自動車2台、救急車4台、他に裾野市消防本部救助工作車1台、救急車1台、長泉町消防本部救急車1台、三島市消防本部救急車1台、沼津市消防本部救急車1台の応援出動により、負傷者13名（要救助者7名）を搬送
- 平成19. 9. 6 台風9号による御殿場市の被害は床上浸水13戸、床下浸水31戸、特に富士岡地区は黄瀬川の氾濫により、甚大なる被害を受ける被害総額3億4千万円、総雨量631mm、小山町は鮎沢川の氾濫により、生土地区の護岸の破壊をはじめ、各所で甚大なる被害となる、被害総額3億8千4百万円、総雨量338mm
- 平成20. 6. 11 御殿場市新橋地先の商店街から出火、全焼1棟、部分焼3棟、焼損面積325㎡、損害額6,765万円
12. 6 金時山乙女側登山道山頂付近で急病人、箱根町消防、御殿場消防が出動、県防災ヘリコプターと連携し、1名を救出
- 平成21. 11. 1 富士スピードウェイ内ドリフトコース駐車場で卓上コンロ爆発事故、6名が負傷、指揮車1台、消防車2台、救助工作車1台、救急車3台、ドクターヘリ3機(東部・西部・東海大)出動
11. 16 須走オートパラダイス付近で観光バスと乗用車の正面衝突事故、9名が負傷指揮車1台、消防車1台、救助工作車1台、救急車5台出動
- 平成22. 9. 8 小山消防署管内風水害災害、台風9号の影響で野沢川の氾濫により、小山地区下野沢橋が決壊し、藤曲地区の六合橋付近の護岸の破壊及び須川の氾濫により養魚場が破壊された、また柳島地区の町道足柄三保線が決壊するなど各所で甚大なる被害となる  
なお、この災害による小山町の被害は、住宅全壊6件、大規模半壊7件、半壊18件、床上浸水14件、その他全壊8件、その他大規模半壊2件、その他半壊6件、その他床上11件、床下浸水94件、その他床下13件土砂崩れ9



2件、水路被害32件、護岸決壊14件、道路崩落29件、河川被害12件、倒木6件、土嚢要請24件、通行止め21箇所、断水なし、停電なし

時間雨量最大 97.0mm、総雨量367.0mm (小山消防署)

時間雨量最大127.5mm、総雨量593.5mm (小山消防署須走分署)

平成23. 8. 21 東名高速道路上り線65.2KPでワゴン車の単独横転事故が発生し、1名死亡、9名が負傷、指揮車1台、消防車1台、救助工作車1台、救急車5台、隊員23名が出動し負傷者9名を搬送

9. 21 台風15号(浜松市上陸)の影響で市町内各地において、風水害の被害が発生した、特に御殿場市では、最大瞬間風速45.9m/sを記録し、家屋の一部破損10棟、倒木などの風による被害が目立ち、負傷者も3名発生した、停電(御殿場市8区 小山町3区)

時間雨量最大54.5mm、総雨量363mm (御殿場消防署西分署)

時間雨量最大63.5mm、総雨量484mm (小山消防署須走分署)

平成26. 2. 14 低気圧接近に伴い大雪警報発令10:53、市町内各地において、大雪による被害が発生した

小山町では小山消防署管内の積雪量が61cm、須走分署管内の積雪量は100cmで須走東災害対策センターに現地災害対策本部が設置され、小山町長から県知事へ自衛隊災害要請をする

御殿場市では御殿場消防署管内の積雪量が85cm、富士岡分署管内の積雪量が55cm、西分署管内の積雪量が59cmで御殿場市災害対策本部が設置された道路の状況

道路名	通行止め区間	開始日時	解除日時
東名高速道路	上り(東京IC~清水IC)	15日02:45	15日02:45
	下り(東京IC~沼津IC)	16日13:30	15日02:45
新東名高速道路	上下(御殿場IC~長泉沼津IC)	14日09:00	17日17:10
東富士五湖道路	上下(須走IC~富士吉田IC)	14日12:20	20日00:00
国道246号線	通行止めなし、ただし、片側1車線のみ通行可の時間帯があった		
国道138号線	深沢東~県境(乙女峠、静岡県管理) 山中湖村平野~小山町須走	15日00:00	20日15:00
		15日01:15	18日21:00

#### 公共交通機関の状況

JR御殿場線	17日 始発から通常運行
富士急行バス(路線バス)	22日 上野線(24日再開)を除き 運行再開
タクシー会社	17日 営業再開

平成27. 11. 27 JR御殿場駅周辺市街地である御殿場市茱萸沢地先の住宅から出火、全焼1棟、焼損面積80㎡、損害額476万円、死者1名

平成28. 5. 26 小山町中日向地先の住宅から出火、全焼1棟、焼損面積196㎡、損害額381万円、死者1名

平成29. 2. 11 御殿場市中丸地先の住宅から出火、全焼1棟、焼損面積164㎡、損害額2,136万円、死者1名

令和 元. 6. 29 小山町棚頭地先の工場(製材)から出火、全焼1棟、焼損面積43㎡、損害額1,037万円

10. 2 御殿場市御殿場地先の学校から出火、収容物のみ焼損、損害額18万円、負傷者5名

10. 12 台風19号の影響で管内各地において、風水害が発生した

御殿場市では、中清水地先で増水した用水路付近で作業していた男性2名が流され、うち1名は消防隊により救助されたが、もう1名が行方不明となり、地域住民、消防団、消防署、警察、自衛隊、海上保安庁、消防防災ヘリコプター等、延べ290名が9日間捜索に当たるほか、土砂崩れ4件、住宅被害13

件、その他にも倒木、道路の冠水などの被害が発生

小山町では、小山地先の社会福祉施設に大量の土砂が流入し、自衛隊消防、消防団、ボランティアなど約200名が土砂の撤去に当たる、また、鮎沢川の護岸が崩れ、県営住宅の真横まで河川が迫るほか、土砂崩れ35件、家屋損壊・浸水14件、道路損壊25件、護岸崩落4件発生

時間雨量最大44.5mm、総雨量557mm（御殿場消防署）

時間雨量最大41.0mm、総雨量503mm（御殿場消防署富士岡分署）

時間雨量最大77.0mm、総雨量647mm（小山消防署）

10. 20 行方不明であった1名が沼津市内の海岸において水死者として発見される
12. 5 御殿場市仁杉地先の住宅から出火、全焼1棟、焼損面積213㎡、損害額3,298万円、負傷者2名
- 令和 2. 1. 11 御殿場市新橋地先の住宅から出火、全焼1棟、焼損面積198㎡、損害額543万円、負傷者1名（Drヘリで搬送）
2. 24 小山町吉久保バス停付近で路線バスと従業員送迎バスの追突事故、6名が負傷し、指揮車1台、消防車1台、救助工作車1台、救急車3台出動
7. 4 小山町上野地先の木質バイオマス発電所から出火、半焼1棟、焼損面積53㎡、損害額1,942万円
- 令和 3. 3. 27 御殿場市二子地先の住宅から出火、全焼1棟、焼損面積84㎡、損害額1,550万円、負傷者1名（Drヘリで搬送）
7. 18 小山町桑木地先の工場から出火、部分焼1棟、焼損面積518㎡、損害額4,933万円、負傷者4名
- 令和 4. 4. 25 小山町湯船地先の倉庫から出火、全焼3棟、焼損面積342㎡、損害額2,082万円
- 令和 4. 10. 13 ふじあざみライン6.0kp付近でバスの単独横転事故、乗員乗客36名（死者1名、重軽傷者35名）を御殿場警察、自衛隊富士学校、ドクターヘリ2機（東部・神奈川）と連携し搬送（出動車両17台、隊員49名）

## 御殿場市・小山町広域行政組合の沿革・組織

組織する地方公共団体 御殿場市及び小山町

### 沿 革

昭和41年	4月	1日	御殿場市・小山町厚生施設組合発足 塵芥処理場、隔離病舎及び火葬場の管理運営に関する事務を共同 処理開始する。
昭和46年	4月	1日	御殿場市・小山町厚生施設組合を改組し、新たに消防業務を加え、 御殿場市・小山町広域行政組合を設立
昭和48年	7月	5日	隔離病舎を廃止
昭和51年	4月	1日	し尿処理業務を加える。 (1) 消防に関する事項 (消防団に係るもの並びに水利施設の設置維持及び管理に 関するものを除く) (2) 火葬場に関する事項 (3) 塵芥焼却場に関する事項 (4) し尿処理に関する事項
平成10年	4月	1日	塵芥焼却場を廃止し、固形燃料化施設（RDFセンター）を設置 する。
平成24年	4月	1日	斎場における火葬等業務を民間業者に委託する。
平成27年	4月	1日	固形燃料化施設を廃止し、焼却センターを設置する。
平成29年10月	1日		再資源化センターを設置する。

### 組織の状況

#### (1) 執行機関

管 理 者	1人	御殿場市・小山町の長の互選による。 任期 御殿場市・小山町のその職にある期間
副 管 理 者	2人	御殿場市・小山町の長のうち管理者とならない者 御殿場市・小山町の副市町長のうちから選出 任期 御殿場市・小山町のその職にある期間
会計管理者	1人	管理者の属する市町の会計管理者
監 査 委 員	2人	知識経験者、議会選出 任期 2年

#### (2) 広域議会

定 数	12人	御殿場市・小山町の議会において市町の議会の議員のうちか ら選挙する 御殿場市 7人 小山町 5人
定 例 会	毎年2回	3月及び9月

## 消防本部発足以降歴代市長・管理者・消防長・消防署長

### 市 長

昭和40年	4月	1日	～	昭和44年	2月	6日	勝	又	藤	男
昭和44年	2月	7日	～	昭和46年	3月	31日	鈴	木	勝	巳

### 管 理 者

昭和46年	4月	1日	～	昭和56年	2月	6日	鈴	木	勝	巳	(御殿場市長)
昭和56年	2月	7日	～	平成5年	2月	6日	大	庭	健	三	(御殿場市長)
平成5年	2月	7日	～	平成13年	2月	6日	内	海	重	忠	(御殿場市長)
平成13年	2月	7日	～	平成21年	2月	6日	長	田	開	蔵	(御殿場市長)
平成21年	2月	7日	～	令和3年	8月	31日	若	林	洋	平	(御殿場市長)
令和3年	10月	3日	～	現			勝	又	正	美	(御殿場市長)

### 消 防 長

昭和40年	4月	1日	～	昭和44年	3月	31日	木	村	賢	(御殿場市助役)	
昭和44年	4月	1日	～	昭和52年	3月	31日	子	上	孝	吉	(御殿場市助役)
昭和52年	4月	1日	～	昭和52年1	2月	11日	鈴	木	勝	巳	(御殿場市長)
昭和52年1	2月	12日	～	昭和57年	3月	31日	江	藤	泰	勝	(御殿場市総務部長)
昭和57年	4月	1日	～	昭和58年	3月	31日	後	藤	尚	平	(御殿場市総務部長)
昭和58年	4月	1日	～	昭和58年1	2月	31日	関	口	達	夫	(消防長事務代理)
昭和59年	1月	1日	～	昭和63年	3月	31日	関	口	達	夫	
昭和63年	4月	1日	～	平成4年	3月	31日	田	代	哲	朗	
平成4年	4月	1日	～	平成7年	3月	31日	羽	田	督		
平成7年	4月	1日	～	平成10年	3月	31日	勝	間	喜	代	弘
平成10年	4月	1日	～	平成12年	3月	31日	長	田	勇		
平成12年	4月	1日	～	平成15年	3月	31日	長	田	洋	一	
平成15年	4月	1日	～	平成18年	3月	31日	勝	間	嘉	雄	
平成18年	4月	1日	～	平成19年	3月	31日	平	野	昭	弘	
平成19年	4月	1日	～	平成23年	3月	31日	鈴	木	平	作	
平成23年	4月	1日	～	平成26年	3月	31日	長	田	利	一	
平成26年	4月	1日	～	平成28年	3月	31日	渡	邊	秀	晃	
平成28年	4月	1日	～	平成30年	3月	31日	田	代	佳	丸	
平成30年	4月	1日	～	令和2年	3月	31日	村	松	秀	樹	
令和2年	4月	1日	～	現			勝	間	誠	司	

### 消 防 署 長

昭和40年	4月	1日	～	昭和45年	3月	31日	鳥	居	恭	男
昭和45年	4月	1日	～	昭和52年	3月	31日	勝	亦	豊	一
昭和52年	4月	1日	～	昭和56年1	2月	31日	芹	沢	勇	一
昭和57年	1月	1日	～	昭和59年	3月	31日	田	代	哲	朗
昭和59年	4月	1日	～	昭和61年	3月	31日	勝	亦	延	夫
昭和61年	4月	1日	～	平成1年	3月	31日	鈴	木	幸	助
平成1年	4月	1日	～	平成3年	3月	31日	三	井	一	郎
平成3年	4月	1日	～	平成6年	3月	31日	増	田	眞	助
平成6年	4月	1日	～	平成7年	3月	31日	長	田	勇	
平成7年	4月	1日	～	平成10年	3月	31日	長	井	傳	嘉
平成10年	4月	1日	～	平成12年	3月	31日	鈴	木	喜	久
平成12年	4月	1日	～	平成14年	3月	31日	勝	又	昭	雄

## 御殿場消防署長

平成14年	4月	1日	～	平成17年	3月31日	齊藤伊三男
平成17年	4月	1日	～	平成18年	3月31日	平田敏雄
平成18年	4月	1日	～	平成19年	3月31日	芹澤民雄
平成19年	4月	1日	～	平成23年	3月31日	勝又敏美
平成23年	4月	1日	～	平成24年	3月31日	芹沢裕司
平成24年	4月	1日	～	平成26年	3月31日	田邊修
平成26年	4月	1日	～	平成27年	3月31日	梶本雅彦
平成27年	4月	1日	～	平成28年	3月31日	田代公一
平成28年	4月	1日	～	平成29年	3月31日	村上武
平成29年	4月	1日	～	平成30年	3月31日	勝間田淳欣
平成30年	4月	1日	～	平成31年	3月31日	岩田誠
平成31年	4月	1日	～	令和4年	3月31日	谷中修
令和4年	4月	1日	～	令和5年	3月31日	小澤進
令和5年	4月	1日	～	現	在	小林真人

## 小山消防署長

平成14年	4月	1日	～	平成15年	3月31日	勝間田嘉雄
平成15年	4月	1日	～	平成17年	3月31日	平田敏雄
平成17年	4月	1日	～	平成18年	3月31日	山口富雄
平成18年	4月	1日	～	平成19年	3月31日	勝又敏美
平成19年	4月	1日	～	平成22年	3月31日	込山久美
平成22年	4月	1日	～	平成23年	3月31日	長田利一
平成23年	4月	1日	～	平成24年	3月31日	田邊修
平成24年	4月	1日	～	平成26年	3月31日	芹澤栄
平成26年	4月	1日	～	平成27年	3月31日	勝間田健一郎
平成27年	4月	1日	～	平成29年	3月31日	山本孝信
平成29年	4月	1日	～	平成30年	3月31日	佐藤清
平成30年	4月	1日	～	令和5年	3月31日	込山眞治
令和5年	4月	1日	～	現	在	野木幹雅

## 御殿場市・小山町歴代消防団長

### 御殿場市

(昭和30年以降)

昭和30年	2月11日	～	昭和40年	3月31日	江藤	栄
昭和40年	4月1日	～	昭和53年	3月31日	今坂	勝利
昭和53年	4月1日	～	昭和60年	3月31日	勝亦	茂樹
昭和60年	4月1日	～	平成1年	3月31日	土屋	勝
平成1年	4月1日	～	平成5年	3月31日	野木	国員
平成5年	4月1日	～	平成7年	3月31日	穂坂	昭夫
平成7年	4月1日	～	平成13年	3月31日	長田	良一
平成13年	4月1日	～	平成17年	3月31日	勝俣	清一
平成17年	4月1日	～	平成21年	3月31日	高田	知
平成21年	4月1日	～	平成25年	3月31日	勝間田	千弘
平成25年	4月1日	～	平成29年	3月31日	勝亦	修治
平成29年	4月1日	～	令和2年	3月31日	大胡田	明寿
令和2年	4月1日	～	現	在	勝又	充夫

### 小山町

(昭和31年10月以降)

昭和31年10月	1日	～	昭和36年	3月31日	山崎	賢三
昭和36年	4月1日	～	昭和42年	3月31日	清水	亥之助
昭和42年	4月1日	～	昭和47年	3月31日	安田	鎌一
昭和47年	4月1日	～	昭和55年	3月31日	中川	保
昭和55年	4月1日	～	昭和57年	3月31日	音渕	佐一
昭和57年	4月1日	～	昭和59年	3月31日	湯山	保
昭和59年	4月1日	～	昭和63年	3月31日	鈴木	敏一
昭和63年	4月1日	～	平成3年	3月31日	秋田	信嘉
平成3年	4月1日	～	平成7年	3月31日	勝俣	昭
平成7年	4月1日	～	平成10年	3月31日	米山	坦
平成10年	4月1日	～	平成13年	3月31日	杉山	靖堅
平成13年	4月1日	～	平成17年	3月31日	山田	公一
平成17年	4月1日	～	平成21年	3月31日	田代	通之
平成21年	4月1日	～	平成25年	3月31日	横山	政行
平成25年	4月1日	～	平成29年	3月31日	小野	正敏
平成29年	4月1日	～	平成31年	3月31日	山橋	弘幸
平成31年	4月1日	～	令和4年	3月31日	米山	恒久
令和4年	4月1日	～	現	在	加藤	健

## 2 総務

令和5年度の常備消防費当初予算は、1,613,971千円で、前年度対比額198,397千円の増となりました。その他に、小山消防署建設事業として31,800千円、富士岡分署建設事業として83,258千円となっております。

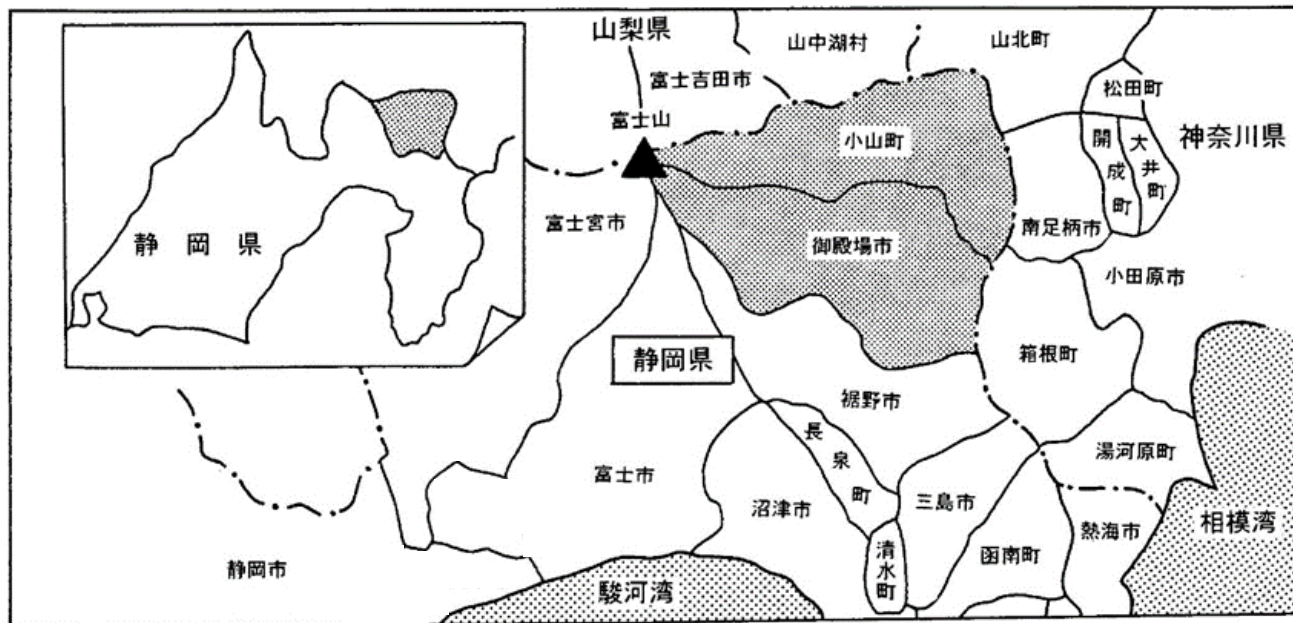
消防職員定数は条例改正により令和3年4月1日から182名となり、職員数は166名（派遣者・出向者含む）となっております。

救急業務の高度化、職員教育の実践、職員の健康管理の推進と働きやすい職場環境の整備、情報公開及び情報管理等、住民生活の「安全と安心」に向けて、消防がその使命を十分に果たすことができるよう、消防防災体制の充実と向上及び資機材の整備を図っていくことに努めます。



(消防長点検)

## 御殿場市・小山町の位置・地勢



令和5年4月1日現在

区分	全体	御殿場市	小山町
人口	101,884 人	84,525 人	17,359 人
世帯	45,047 世帯	37,544 世帯	7,503 世帯
面積	330.64 km <sup>2</sup>	194.90 km <sup>2</sup>	135.74 km <sup>2</sup>
東経		御殿場市役所の位置 138° 56' 06"	小山町役場の位置 138° 59'
北緯		" 35° 18' 31"	" 35° 21'
海拔		" 459.8 m	" 266 m
広ぼう		東西 24 km ・ 南北 16 km	東西 26 km 南北 13 km

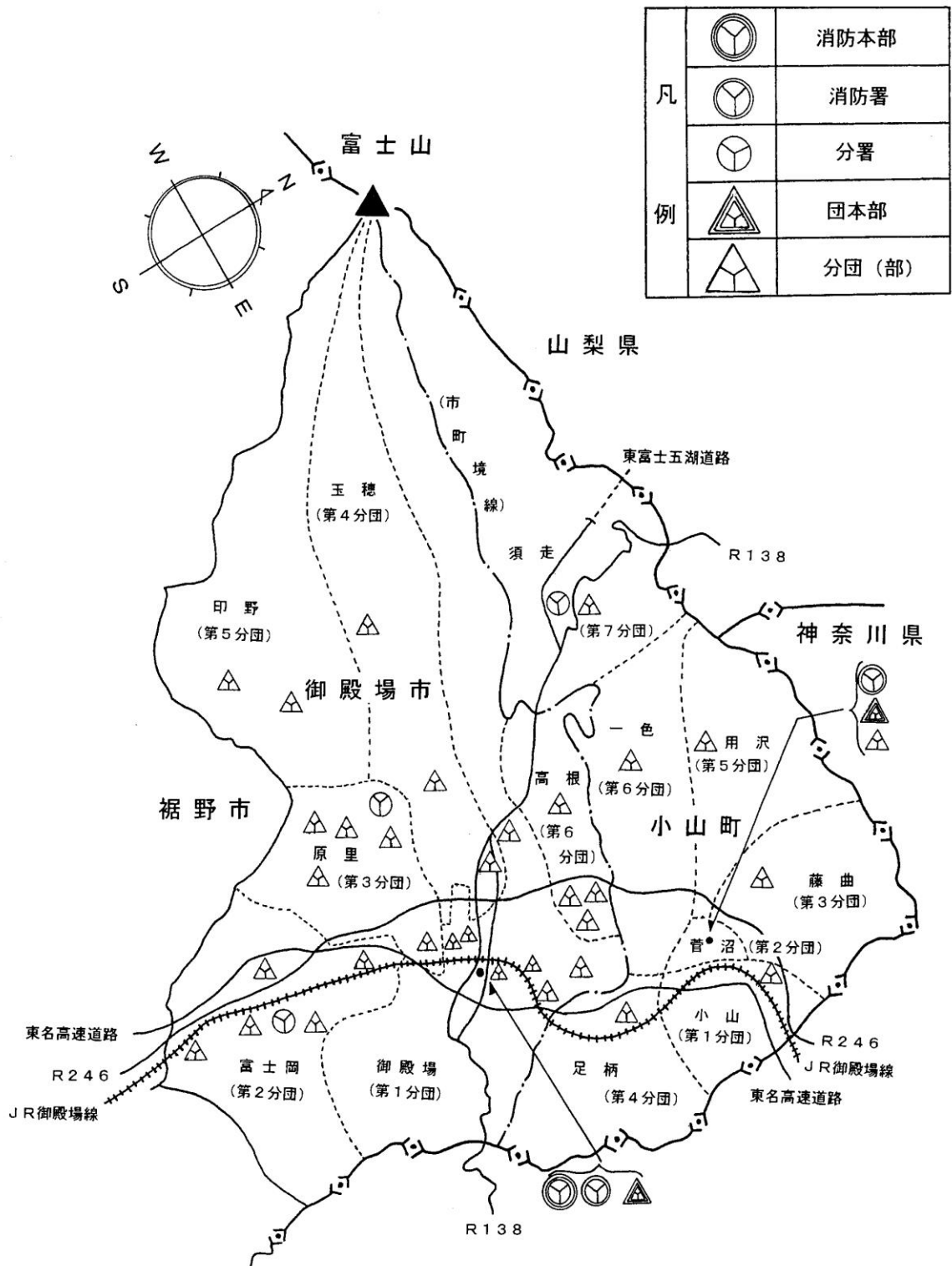
## 消防庁舎の現況

令和5年4月1日現在

名称 区分	消防本部・御殿場消防署 御殿場市消防団本部	御殿場消防署 富士岡分署	御殿場消防署 西分署	小山消防署 小山町消防団本部	小山消防署 須走分署
所在地	御殿場市東田中 一丁目19-1	御殿場市中山473-1	御殿場市永塚916	小山町菅沼359-2	小山町須走293-1
竣工	平成6年3月17日	昭和51年9月25日	平成10年3月14日	昭和47年3月20日	昭和55年10月20日
構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造3階建	鉄骨造平屋建	鉄骨造平屋建	鉄筋コンクリート造 2階建	鉄骨造平屋建
1階	1,661.03m <sup>2</sup>	194.02m <sup>2</sup>	409.78m <sup>2</sup>	382.10m <sup>2</sup>	207.70m <sup>2</sup>
2階	852.12m <sup>2</sup>	-	-	277.20m <sup>2</sup>	-
3階	601.71m <sup>2</sup>	-	-	-	-
P H	28.05m <sup>2</sup>	-	-	-	-
延面積	3,142.91m <sup>2</sup>	194.02m <sup>2</sup>	409.78m <sup>2</sup>	659.30m <sup>2</sup>	207.70m <sup>2</sup>
建築面積	1,948.22m <sup>2</sup>	208.55m <sup>2</sup>	409.78m <sup>2</sup>	382.10m <sup>2</sup>	225.02m <sup>2</sup>
訓練塔	鉄筋コンクリート造4階建 延面積 202.8m <sup>2</sup>	-	-	鉄骨造3階建 延面積 166.8m <sup>2</sup>	-
敷地面積	7002.01m <sup>2</sup>	715.25m <sup>2</sup>	2,000.21m <sup>2</sup>	1,200.00m <sup>2</sup>	709.38m <sup>2</sup>
工事費	1,576,000千円	23,415千円	148,000千円	56,623千円	27,420千円
増築等	H22.3 高機能消防指令システム 257,040千円 H27.12 消防救急デジタル無線システム 345,600千円	H10.11 耐震補強・増築 16.71m <sup>2</sup> 8,249千円	-	H9.2 増築 259.18m <sup>2</sup> 33,236千円 H13.12 耐震補強改修 17,788千円 H18.3 訓練塔建設 30,461千円	H11.12 増築 17.57m <sup>2</sup> 7,390千円

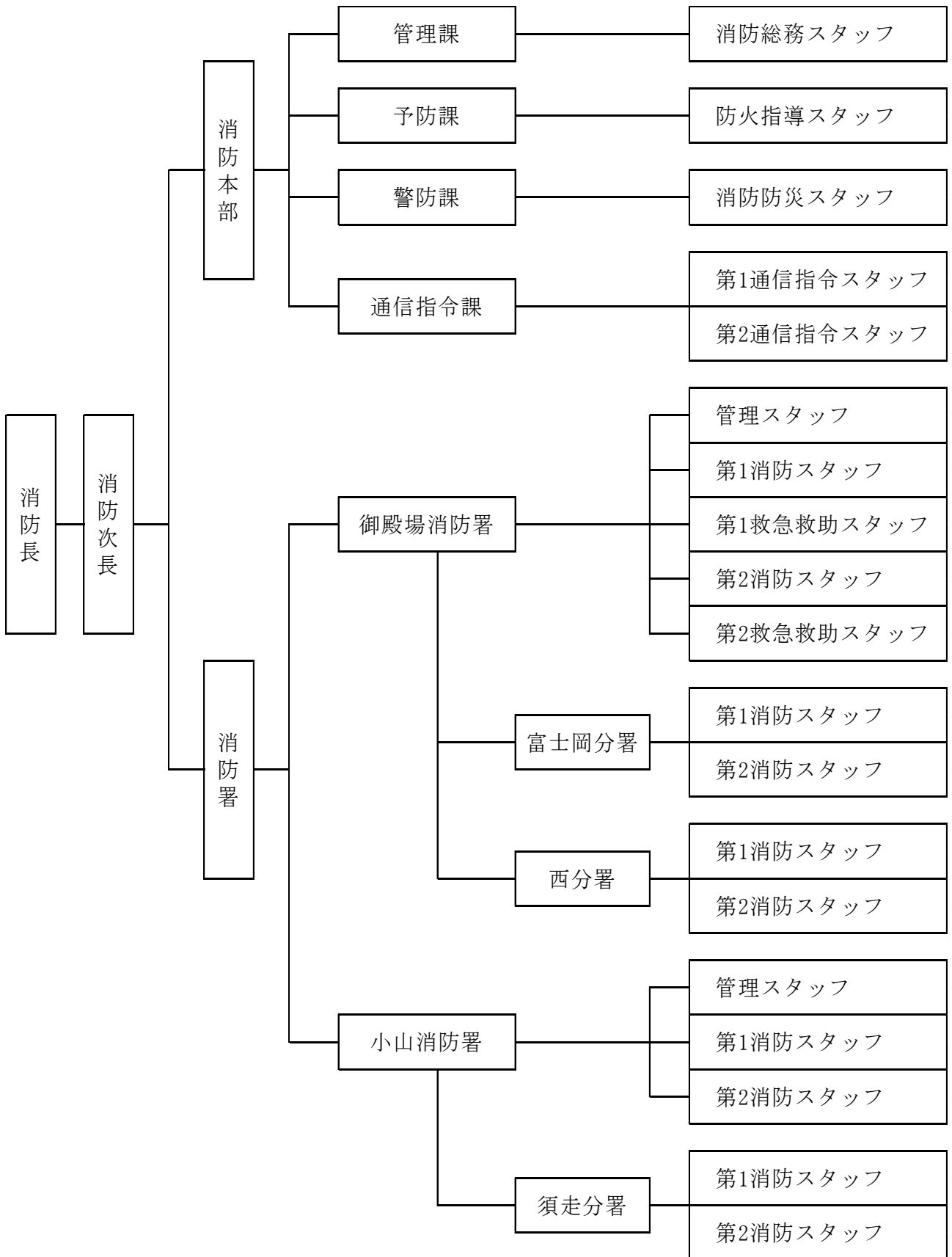


# 管内消防機関配置図



# 消防本部・消防署組織機構図

令和5年4月1日現在



## 分掌事務

令和5年4月1日現在

### 管 理 課

- (1) 組織及び企画に関すること。
- (2) 儀式及び表彰に関すること。
- (3) 条例、規則等の制定改廃に関すること。
- (4) 公印の保管に関すること。
- (5) 文書管理に関すること。
- (6) 公文書公開に関すること。
- (7) 公文書公開・個人情報保護審査会に関すること。
- (8) 職員の人事、給与及び福利厚生に関すること。
- (9) 職員の公務災害補償及び賞じゅつ金に関すること。
- (10) 職員の研修に関すること。
- (11) 職員の保健衛生及び安全管理に関すること。
- (12) 職員の被服等貸与品の支給に関すること。
- (13) 消防職員委員会に関すること。
- (14) 予算に関すること。
- (15) 備品台帳に関すること。
- (16) 庁舎等の維持管理に関すること。
- (17) 他の課等との連絡に関すること。
- (18) 関係機関との連絡調整に関すること。
- (19) 消防統計に関すること。
- (20) 他の課の所管に属さない事項に関すること。

### 予 防 課

- (1) 火災予防の対策、普及、指導及び査察に関すること。
- (2) 火災の原因及び損害の調査並びに災証明に関すること。
- (3) 消防用設備の検査及び指導に関すること。
- (4) 防火管理者に関すること。
- (5) 建築許可等の同意事務に関すること。
- (6) 危険物の規制に関すること。
- (7) 県証紙の売りさばきに関すること。
- (8) 高圧ガス及び液化石油ガスの規制に関すること。
- (9) 火薬類の規制に関すること。
- (10) 予防統計に関すること。
- (11) 防火協力団体に関すること。
- (12) 広報に関すること。
- (13) 消防クラブの育成及び指導に関すること。
- (14) その他予防業務に関すること。

## 警 防 課

- (1) 消防計画に関すること。
- (2) 消防の地理及び水利に関すること。
- (3) 水火災及び地震等の警戒防ぎよに関すること。
- (4) 消防、救急及び救助技術の研究並びに訓練指導に関すること。
- (5) 消防機械器具の整備及び取り扱いに関すること。
- (6) 消防相互応援に関すること。
- (7) 救急医療機関との連絡調整に関すること。
- (8) 消防団に関すること。
- (9) 自主防災組織の消防指導に関すること。
- (10) 消防救助隊に関すること。
- (11) 救急及び救助の計画並びに統計に関すること。
- (12) その他警防業務に関すること。

## 通信指令課

- (1) 消防通信に関すること。
- (2) 通信施設等の整備、保守及び管理に関すること。
- (3) 警報及び情報連絡に関すること。
- (4) 気象観測及び気象情報に関すること。
- (5) その他通信指令業務に関すること。

## 消 防 署

- (1) 水火災及び地震等の警戒防ぎよに関すること。
- (2) 救急及び救助に関すること。
- (3) 危険区域等の警防計画に関すること。
- (4) 消防機械器具の整備、運用及び保管に関すること。
- (5) 火災予防の指導及び査察の実施に関すること。
- (6) 消防対象物の調査及び立入検査に関すること。
- (7) 消防署関係届出等の処理に関すること。
- (8) 煙火の消費に係る届出の受理及び許可に関する事務並びに立入検査に関すること。
- (9) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (10) 消防の地理及び水利に関すること。
- (11) 消防の教育及び訓練に関すること。
- (12) 消防救助隊の訓練に関すること。
- (13) 消防団及び自主防災組織との連携共助に関すること。
- (14) 消防統計に関すること。
- (15) 消防署員の服務及び教養に関すること。
- (16) その他消防署に関すること。

## 消防本部・消防署別職員配置状況

令和5年4月1日現在

階 級		合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員
所 属										
職 員 条 例 定 数		182								
職 員 合 計		166	1	7	27	46	23	29	32	1
消 防 本 部	消 防 長	1	1							
	消 防 次 長	1		1						
	管 理 課	18		(1)	2	4	2		10	
	予 防 課	8		1	2	3		2		
	警 防 課	5		1	1	1		1		1
	通 信 指 令 課	11		1	3	3	2	2		
	小 計	44	1	4	8	11	4	5	10	1
消 防 署	消 防 次 長	1		1						
	御 殿 場 消 防 署	53		1	9	15	6	12	10	
	富 士 岡 分 署	14			2	4	4	2	2	
	西 分 署	14			3	3	4	2	2	
	小 山 消 防 署	28		1	3	10	2	6	6	
	須 走 分 署	12			2	3	3	2	2	
	小 計	122	0	3	19	35	19	24	22	0

※注1 消防本部管理課内（御殿場市派遣1人、静岡県航空隊派遣1人、静岡県派遣1人、初任科入校者10人を含む。）

※注2 消防本部警防課内（御殿場市から派遣1人を含む。）

※注3 （ ）は兼務を表す。管理課長は消防次長が兼務する。

## 職員年齢状況

令和5年4月1日現在

階 級		比 率 %	合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員
年 齢											
平 均 年 齢			37.0	59.0	56.5	50.5	43.2	33.5	31.2	22.2	42
合 計		100.0	166	1	7	27	46	23	29	32	1
20 歳 未 満		4.8	8							8	
20 歳 ～ 24 歳		10.2	17							17	
25 歳 ～ 29 歳		15.7	26						20	6	
30 歳 ～ 34 歳		13.9	23					16	6	1	
35 歳 ～ 39 歳		9.6	16				9	7			
40 歳 ～ 44 歳		10.2	17				16				1
45 歳 ～ 49 歳		18.7	31			10	21				
50 歳 ～ 54 歳		10.2	17		1	16					
55 歳 以 上		6.7	11	1	6	1			3		

## 職員勤続年数状況

令和5年4月1日現在

階級 年数	構成 比	合計	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	その他の 職員
平均勤続年数			37.0	37.1	30.1	22.0	13.1	10.8	2.7	14
合計	100	166	1	7	27	46	23	29	32	1
5年未満	15.7	26						4	22	
5年以上～10年未満	16.9	28					3	15	10	
10年以上～15年未満	13.9	23				2	13	7		1
15年以上～20年未満	12	20				13	7			
20年以上～25年未満	10.8	18				18				
25年以上～30年未満	15.1	25			12	13				
30年以上	15.6	26	1	7	15			3		

## 職員任用状況

令和5年4月1日現在

区分 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
職員定数	155	155	155	160	160	160	160	182	182	182
職員数	151	151	153	152	150	150	155	161	164	166
採用者数	5	6	6	6	8	4	8	3	4	10
退職者数	5	5	7	9	2	3	1	2	5	9
再任用者			1	1			1	1	2	3

※ 職員数は、令和3年度から派遣者・出向者を含む。

## 派遣等の状況

令和5年4月1日現在

区分 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
御殿場市へ派遣	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1
広域行政組合事務局へ出向	—	—	—	1	1	1	1	1	1	—
五輪組織委員会へ派遣	—	—	—	—	—	1	1	1	—	—
静岡県庁へ派遣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
静岡県防災ヘリ（航空隊）へ派遣	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1
消防学校への教官派遣	—	—	—	—	—	1	1	1	—	—
御殿場市からの派遣	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

# 令和5年度常備消防費当初予算

令和5年4月1日現在

## 歳入

(単位：千円)

款	令和5年度	令和4年度	比較	説明
分担金及び負担金	1,098,999	1,069,041	29,958	御殿場市
	346,493	372,157	△ 25,664	小山町
使用料及び手数料	4,082	4,016	66	危険物手数料等
国庫支出金	50,142	0	50,142	国庫補助金
県支出金	29,217	12,590	16,627	県補助金
諸収入	4,334	6,485	△ 2,151	東名救急業務支弁金
	9,933	0	9,933	静岡県防災ヘリコプター 職員派遣市町村助成金
	420	420	0	その他
組合債	174,300	23,600	150,700	
合計	1,717,920	1,488,309	229,611	

## 歳出

(単位：千円)

目	節	令和5年度	令和4年度	比較
常備消防費	報酬	1,916	256	1,660
	給料	604,400	591,773	12,627
	職員手当等	451,565	433,550	18,015
	共済費	208,205	201,096	7,109
	災害補償費	1	1	0
	報償費	15	15	0
	旅費	3,536	2,932	604
	需用費	81,011	76,679	4,332
	役務費	18,514	18,110	404
	委託料	31,050	24,572	6,478
	使用料及び賃借料	13,557	12,153	1,404
	原材料費	92	68	24
	備品購入費	183,536	39,926	143,610
	負担金補助及び交付金	15,678	13,270	2,408
公課費	895	1,173	△ 278	
小山消防署建設事業費	委託料他	31,800	35,000	△ 3,200
富士岡分署建設事業費	委託料他	83,258	0	83,258
合計		1,729,029	1,450,574	278,455

## 相互応援協定等の締結状況

### 県内協定

令和5年4月1日現在

協定名	締結日	協定締結先
消防相互援助協約	昭和62年2月19日	キャンプ富士消防署
静岡県消防相互応援協定	昭和62年3月2日	県下各市町長及び消防組合管理者
東名高速道路内の御殿場・裾野・沼津インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定	昭和63年3月29日	裾野市長 長泉町長 沼津市長
静岡県防災ヘリコプター応援協定	平成29年3月29日	県下各市町長及び消防組合管理者
新型コロナウイルス感染症患者等の搬送に関する協定	令和3年3月23日	静岡県知事
御殿場市・小山町広域行政組合と富士山南東消防組合の新東名高速道路における消防業務に係る相互応援に関する協定	令和3年3月30日	富士山南東消防組合 管理者

### 県外協定

協定名	締結日	協定締結先
非常出入口の使用に関する協定	昭和45年 4月24日	中日本高速道路(株)高速道路東京管理局
東名高速道路都夫良野トンネルにおける無線通信補助設備の便宜供与に伴う協定	昭和59年 3月 8日	中日本高速道路(株)東京第一管理局長 外
非常出入口の使用に関する協定	昭和62年 3月11日	中日本高速道路(株)東京第一管理局長
小田原市と御殿場市・小山町広域行政組合との消防相互応援協定	平成25年3月31日	小田原市長
箱根町及び御殿場市・小山町広域行政組合消防相互応援協定	平成28年 6月 1日	箱根町長
東名高速道路 都夫良野トンネル他における無線通信設備等の使用に関する協定	平成28年7月29日	中日本高速道路(株)東京支社保全・事業サービス事業部長
富士五湖広域行政事務組合及び御殿場市・小山町広域行政組合消防相互応援協定	平成 28年8月 19日	富士五湖広域行政事務組合消防長

### その他

協定名	締結日	協定締結先
ガス漏洩爆発事故対策に関する申合せ	昭和55年12月 1日	静岡県プロパンガス協会東部支部 御殿場地区会御殿場小山各ブロック会 外
小山町無線放送施設に関する運用協定	平成6年6月1日	小山町長
大規模災害に際しての消防及び自衛隊の相互協力に関する協定	平成 8年 1月17日	消防庁次長 防衛庁防衛局長
移動体電話からの119番通報の取扱いに関する協定	平成10年10月1日	県下各市町村長及び一部事務組合代表者
携帯電話等から消防機関への119番通報の接続に関する覚書	平成20年6月17日	株式会社エヌ・ティ・ティ ドコモ東海 外
御殿場市防災行政無線行政無線(同報系)遠隔装置の運用に関する協定	平成25年3月7日	御殿場市長
大規模災害等発生時における緊急消防援助隊等の駐車場使用に関する協定	平成26年6月5日	御殿場プレミアム・アウトレット三菱地所・サイモン株式会社支配人
災害時における支援に関する協定	平成29年10月20日	静岡県東部生コンクリート販売協同組合 外

### 消防団協定

協定名	締結日	協定締結先
御殿場市・小山町間の消防団火災出動相互応援に関する協定	昭和53年11月1日	御殿場市長 御殿場市消防団長 小山町長 小山町消防団長
御殿場市・裾野市間の消防団火災出動相互応援に関する協定	昭和53年11月1日	御殿場市長 御殿場市消防団長 裾野市長 裾野市消防団長



### 3 予 防

#### [防火対象物]

令和4年度の防火対象物は4,188件（御殿場市3,406件、小山町782件）となり、前年と比べ22件増加した。

建築同意件数は197件で前年より53件減少した。

立入検査は、401件を実施した。また、防火管理の徹底を図るため甲種防火管理者資格取得講習会を4回実施した。

#### [危 険 物]

管内の危険物製造所等の施設数は696施設で、前年に比べ5施設減少した。

危険物施設の設置許可数は10件で2件の増加、変更許可数は99件で3件の減少、完成検査は104件で7件の減少、廃止届は16件であった。

また、申請手数料については、4,925,500円で昨年に比べ約13万円の減少であった。

危険物に関する事故の未然防止を図るため、一般取扱所の立入検査を実施し危険物取扱者の適正配置等を指示し事故防止の徹底に努めた。



（一般取扱所検査）

# 防火対象物現況数

令和4年度

用途別		市 町 別	合 計	御 殿 場 市	小 山 町
		合 計	4,188	3,406	782
1項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	9	5	4
	ロ	公会堂又は集会場	26	18	8
2項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等	0		
	ロ	遊技場又はダンスホール	17	16	1
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	0		
	ニ	カラオケボックス等	3	2	1
3項	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	1	1	
	ロ	飲食店	152	136	16
4項		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗等	295	269	26
5項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	205	153	52
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	1,015	923	92
6項	イ	病院、診療所又は助産所	75	67	8
	ロ	老人短期入所施設等	56	49	7
	ハ	老人デイサービスセンター等	78	69	9
	ニ	幼稚園・特別支援学校	12	10	2
7項		小中高等学校、高等専門学校、大学・専修学校等	135	102	33
8項		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	5	4	1
9項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場等	1	1	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	8	5	3
10項		車両の停車場又は船舶もしくは航空機の発着場	4	2	2
11項		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	44	30	14
12項	イ	工場又は作業場	663	502	161
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	0		
13項	イ	自動車車庫又は駐車場	55	35	20
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	2	2	
14項		倉庫	279	201	78
15項		前各項に該当しない事業場	706	506	200
16項	イ	特定用途別部分が存する複合用途防火対象物	267	235	32
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外のもの	72	61	11
16項の2		地下街	0		
16項の3		建築物の地階で連続して地下道に面したもの等	0		
17項		文化財保護法による重要文化財等	3	2	1
18項		延長50メートル以上のアーケード	0		
19項		市町村長の指定する山林	0		
20項		自治省令で定める舟車	0		

# 用途構造別建築同意件数

令和4年度

用途別	市 町 別		御 殿 場 市					小 山 町						
	構造別（棟別）		木 造	鉄 骨	鉄ク 筋リ コ ント	そ の 他	同意件数計		木 造	鉄 骨	鉄ク 筋リ コ ント	そ の 他	同意件数計	
							4 年 度	3 年 度					4 年 度	3 年 度
合 計			41	68	4	1	114	160	16	57	10	0	83	90
1項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場					0	0					0	1
	ロ	公会堂又は集会場	1				1	0					0	0
2項	イ	キャハ <sup>レ</sup> 、カフェー、ナイトクラブ <sup>フ</sup> 等					0	0					0	0
	ロ	遊技場又はダンスホール					0	0					0	0
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗					0	0					0	0
	ニ	カラオケボックス等					0	0					0	0
3項	イ	待合、料理店その他これらに類するもの					0	0					0	0
	ロ	飲食店	1				1	2					0	0
4項		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗等	4	11			15	9	1	1			2	0
5項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	2	1	1		4	11	3		1		4	3
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	2	4	1		7	9					0	0
6項	イ	病院、診療所又は助産所	1	2			3	2		1			1	0
	ロ	老人短期入所施設等		1			1	4					0	4
	ハ	老人デイサービスセンター等	4		1		5	8		2			2	4
	ニ	幼稚園・特別支援学校					0	0					0	0
7項		小中高等学校、高等専門学校、大学・専修学校等					0	2					0	0
8項		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの					0	0			1		1	0
9項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場等					0	0					0	0
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場					0	0			1		1	0
10項		車両の停車場又は船舶もしくは航空機の発着場					0	0					0	0
11項		神社、寺院、教会その他これらに類するもの					0	1	1				1	0
12項	イ	工場又は作業場	4	7			11	12	1	4			5	9
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ					0	0					0	0
13項	イ	自動車車庫又は駐車場		2			2	4		2			2	7
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫					0	0					0	0
14項		倉庫		11			11	9		8	3		11	1
15項		前各項に該当しない事業場	1	1			2	25	1	23	3		27	39
16項	イ	特定用途別部分が存する複合用途防火対象物	2	1			3	2		1			1	12
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外のもの	1				1	0		2			2	0
小 計			23	41	3	0	67	100	7	44	9	0	60	80
専 用 住 宅			7	11			18	29					0	1
そ の 他			11	14		1	26	27	9	11			20	8
小 計			18	25	0	1	44	56	9	11	0	0	20	9
計 画 通 知				2	1		3	4		2	1		3	1
小 計			0	2	1	0	3	4	0	2	1	0	3	1

16項の2・16項の3・18項～20は該当なし

用途別	実施状況	対象数	実施数	実施率%
合計		424	401	95
遊技場又はダンスホール (2項ロ)		11	10	91
カラオケボックス等 (2項ニ)		1	1	100
飲食店 (3項ロ) (特別査察)		9	9	100
旅館・ホテル等 (5項イ) (富士山)		17	17	100
共同住宅・寄宿舎等 (5項ロ)		108	103	95
老人短期入所施設等 (6項ロ)		40	39	98
老人デイサービスセンター等 (6項ハ)		43	41	95
幼稚園・特別支援学校 (6項ニ)		10	9	90
工場又は作業場 (12項イ)		51	51	100
倉庫 (14項)		106	93	88
複合用途防火対象物【特防】 (16項イ) (特別査察)		7	7	100
複合用途防火対象物【非特防】 (16項ロ)		21	21	100

### 住宅用火災警報器を設置しましょう。

全ての住宅に、平成21年6月1日（御殿場市・小山町広域行政組合火災予防条例）から住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

## 住宅用火災警報器

10年を目安に  
取り替えましょう!!



家族を守る強い味方も、  
鳴らないと  
意味がありません!



編集：一般財団法人 日本防火・防災協会 発行：日本消防検定協会

住宅用火災警報器は、10年以上経つと内部の部品が劣化して、正常に動かなくなるおそれがありますので、本体の交換が望ましいとされています。

# 管内 5 階以上の建築物一覧

御殿場市（御殿場市内：119棟）

5階（73棟）

令和 4 年

名 称	用途	名 称	用途
御殿場市市民会館	公会堂	御殿場レックスハイツ	共同住宅
御殿場美華ガーデン	飲食店	コーポラス新橋	〃
御殿場高原ホテル（時の栖）	ホテル	アイクレスト御殿場 1	〃
ホテルセレクトイン富士山御殿場	〃	アイクレスト御殿場 2	〃
D. L フォレスト御殿場	〃	東山ガーデンハウス	〃
ホテル ルミエール御殿場	〃	M-BS御殿場老番館	〃
御殿場高原ホテル（時の栖別館）	〃	滝ヶ原ぐみ沢宿舎	〃
ホテル昴	〃	ロイヤルシャトー御殿場南	〃
レンブラントスタイル御殿場駒門	〃	ベルメゾンごてんば	〃
ドリーインEXPRESS富士山御殿場	〃	Chestar court	〃
ホテル御亭富士御殿場	〃	陸上自衛隊板妻駐屯地 6 号隊舎	〃
滝ヶ原宿舎 A 棟	共同住宅	陸上自衛隊板妻駐屯地 1 0 号隊舎	〃
滝ヶ原宿舎 B 棟	〃	陸上自衛隊板妻駐屯地 3 4 号隊舎	〃
萩原宿舎 1 号棟	〃	コーポラス板妻	〃
萩原宿舎 2 号棟	〃	ラブレジール御殿場二の岡	〃
滝宿舎 1 号棟	〃	コンフォート向原	〃
滝宿舎 2 号棟	〃	富士病院	病院
滝宿舎 3 号棟	〃	県立御殿場高等学校	学校
ビレッジハウス御殿場	〃	御殿場プレミアムアウトレット第 4 駐車場	駐車場
杉原宿舎 1 号棟	〃	リソテックイスタイル御殿場工場	工場
杉原宿舎 2 号棟	〃	小林工芸	〃
エトワール御殿場	〃	岡山国際サーキット	倉庫
サンコーボ第 2 新橋	〃	陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地（格納庫）	〃
グリーンタウンぐみ沢	〃	タウン社	事務所
コーポラス野中	〃	御殿場市役所	〃
コーボカツマタ	〃	陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地 5 4 3 号隊舎	〃
ソシオ御殿場	〃	マースエッジアリスグテクノロジー物流センター	〃
日立ハイテクサイエンス	〃	芝浦機械(株)御殿場工場 新技術棟	〃
ヴィラ御殿場	〃	滝口ビル	複合用途
ファミリーヴィラ御殿場	〃	さんどーるビル	〃
メゾン・グッチ	〃	シティープラザ B-1 ビル	〃
レスパニャよしの A 棟	〃	メゾン東富士	〃
レスパニャよしの B 棟	〃	興産ビル	〃
シャンドン御殿場	〃	みやざきやビル	〃
アビターレ	〃	レジデンス杉山	〃
グランピュア・カミヤ	〃	箱根東山館	〃
クインテッセンス御殿場	〃		

6階（18棟）

名 称	用途	名 称	用途
TOTO(株)東富士研修所	ホテル	ウイステリア御殿場参番館	共同住宅
レンブラントプレミアム富士御殿場	〃	アーバンシティー御殿場	〃
いやし処ほてる寛楽富士山御殿場	〃	ツール御殿場	〃
モナーク御殿場	共同住宅	ヴィラ S&T	〃
フォーシーズン大坂	〃	ベルクレール御殿場	〃
サンコーボ第 3 新橋	〃	ウイステリアコート川島田	〃
富士ランドフジビューマンション	〃	ウイステリア御殿場	〃
御殿場ヒルズ	〃	大和田ビル	複合用途
リシャール御殿場	〃	御殿場ミュージアムタワー	〃

7階（11棟）

名 称	用途	名 称	用途
ウイステリア御殿場式番館	共同住宅	オサコー建設 社屋	事務所
シャレーフジハイランド	〃	くれたけイン御殿場インターホテル	ホテル
ウイステリア御殿場アクシス	〃	ホテルルートイン御殿場	〃
Breeze GOTENBA	〃	スーパーホテル御殿場 1 号館	〃
トヨタ自動車東富士研究所（C11棟）	事務所	湯山ビル	複合用途
トヨタ自動車東富士研究所（C12棟）	〃		

8階 (5棟)

名 称	用途	名 称	用途
ルートイン御殿場別館	ホテル	HOTEL CLAD 木の葉の湯	ホテル
スーパーホテル御殿場Ⅱ号館	〃	中外製薬(株)御殿場社員寮	共同住宅
vigorous新橋	〃		

9階 (7棟)

名 称	用途	名 称	用途
御殿場高原ホテルB, U	ホテル	Y-TOWN御殿場 社宅棟	共同住宅
ホテルα 1御殿場インター	〃	Y-TOWN御殿場 寮・厚生棟	〃
ルートイン御殿場駅南	〃	シティープラザC-1ビル	複合用途
エンブル・ガーデン御殿場	共同住宅		

10階 (1棟)

名 称	用途
リバルテ御殿場	共同住宅

11階 (1棟)

名 称	用途
オブリージュ御殿場レジデンス	共同住宅

12階 (2棟)

名 称	用途	名 称	用途
ウイステリア御殿場東	共同住宅	マースガーデンウッド御殿場	ホテル

14階 (1棟)

名 称	用途
タワーコート御殿場	共同住宅

小山町 (小山町内 : 29棟)

5階 (19棟)

名 称	用途	名 称	用途
グランファミリア落合	共同住宅	下原宿舎1号棟	共同住宅
県営住宅小山第1団地	〃	下原宿舎2号棟	〃
柳沢宿舎A棟	〃	下原宿舎3号棟	〃
柳沢宿舎B棟	〃	高原コンドB棟	〃
須走宿舎1 2号棟	〃	高原コンドC棟	〃
須走宿舎1 3号棟	〃	陸上自衛隊富士学校6号棟隊舎	〃
須走宿舎1 4号棟	〃	陸上自衛隊富士学校7号棟隊舎	〃
須走宿舎K号棟	〃	陸上自衛隊富士学校1 3号棟隊舎	〃
サンハイツ須走	〃	陸上自衛隊富士学校3 2 1号棟隊舎	複合用途
富士特別借受宿舎	〃		

6階 (3棟)

名 称	用途	名 称	用途
アイリスオーヤマ富士小山工場	工場	陸上自衛隊富士学校3 1 3号隊舎	事務所
東海カーボン富士研究所	研究所		

7階 (1棟)

名 称	用途
ホテルジャストワン富士小山	ホテル

8階 (2棟)

名 称	用途	名 称	用途
ダイヤモンドリゾート御殿場式番館	共同住宅	(株)東海 (3工場)	工場

9階 (3棟)

名 称	用途	名 称	用途
富士美華リゾート	ホテル	富士ざくらホテル	ホテル
富士スピードウェイホテル	ホテル		

10階 (1棟)

名 称	用途
ダイヤモンドリゾート御殿場老番館	共同住宅

# 消防用設備等設置状況

令和4年度

市町別 設備名 項	御 殿 場 市									小 山 町									
	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー	水 噴 霧 消 火 設 備 等	屋 外 消 火 栓 設 備	動 力 消 防 ポン プ	自 動 火 災 報 知 設 備	非 常 警 報 器具 ・ 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯 ・ 誘 導 標 織	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー	水 噴 霧 消 火 設 備 等	屋 外 消 火 栓 設 備	動 力 消 防 ポン プ	自 動 火 災 報 知 設 備	非 常 警 報 器具 ・ 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯 ・ 誘 導 標 織	
合計	347	80	95	131	16	1,424	554	355	1,351	107	20	44	55	4	390	118	58	326	
1項	イ	1	1				2	2	1	2	1		1		3	3	1	3	
	ロ	6	1				12	13	2	16					6	4		6	
2項	イ																		
	ロ	4	1	1			16	10	3	19					1	1		1	
	ハ																		
3項	イ						2	1	3						1			1	
	ロ	4			4		62	53	14	129	3	1	1		12	5		15	
4項		14	6	10	29	1	137	102	7	234					5	8		19	
5項	イ	29	5	5	8	2	139	31	34	86	14	3	4	3	52	19	15	42	
	ロ	22	2	10	5		170	69	157	52	11		1		31	11	26	17	
6項	イ	9	6		1		40	26	10	57	3				6	4	2	7	
	ロ	1	28				49	18	8	46		8			7	2	2	9	
	ハ	3	11				40	20	10	54	2	2			5	1	2	8	
	ニ	4					10	6	1	12	1				2			2	
7項		60		1			86	45	16	32	13				26	9	1	6	
8項		3					5	2		4									
9項	イ																		
	ロ	1					2	2		2	1				2	1		3	
10項																			
11項		1					3	15		6	1				3	4		7	
12項	イ	86	6	35	53	9	252	4	4	161	26	4	21	34	2	104	5	3	66
	ロ																		
13項	イ	1		19			21	2		10			5		5			5	
	ロ	1					2												
14項		34	7	3	23	4	116	2	3	76	9	1	6	12	2	41		3	19
15項		46		7	6		142	91	18	170	15		6	3		55	33	1	63
16項	イ	13	5	4			98	36	57	160	4	1	1	1	18	8	2	22	
	ロ	4	1		1		15	5	9	19	3				4			5	
17項				1			2								1				

※16項の2・16項の3・18項～20項は該当なし

## 火災予防条例による届出件数

令和4年度

届出の種類	届出件数	御殿場市	小山町
合計	1,483	1,096	387
禁止行為の解除承認申請	27	25	2
防火対象物使用開始（変更）届出	83	63	20
炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー等設置届出	49	36	13
発電設備・変電設備・蓄電池設備設置届出	61	44	17
ネオン管灯設備設置届出	0		
水素ガスを充てんする気球の設置届出	0		
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生おそれのある行為の届出	424	296	128
煙火打上げ・仕掛け届出	107	87	20
催物開催届出	97	57	40
水道断水・減水届出	0		
道路工事届出	488	387	101
指定洞道等届出（新規・変更）	0		
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届	38	27	11
少量危険物貯蔵・指定可燃物貯蔵取扱い・廃止届出	34	18	16
露店	75	56	19

## 枯草処置指導件数

令和4年度

調査	調査延日数	調査延人員	調査件数	調査延面積
	18日	86人	45件	394.89 a
処置	確認延日数	確認延人員	処置済件数	処置済面積
	15日	56人	34件	330.3 a

## 月別煙火許可件数

令和4年度

月別	許可合計	3号～10号の数量	スターマイン(台)	仕掛(台)	その他	手数料(円)
合計	26	3,979	245	0	0	205,400
4月	0					0
5月	1	418	9			7,900
6月	1	170	2			7,900
7月	6	648	62			47,400
8月	7	692	83			55,300
9月	3	754	21			23,700
10月	3	908	40			23,700
11月	2	120	9			15,800
12月	2	119	6			15,800
1月	1	150	13			7,900
2月	0					0
3月	0					0



# 類別危険物施設数

令和4年度

市 町 別	施設別 類別	合計	製造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計
	合計	696	13	116	163	9	124	2	35	26	488	101	2	105	208
御 殿 場 市	第 4 類	495	6	83	122	6	89	1	27	5	333	73	2	81	156
	そ の 他	3		2							2			1	1
	小 計	498	6	85	122	6	89	1	27	5	335	73	2	82	157
小 山 町	第 4 類	189	5	28	41	3	35	1	4	21	133	28		23	51
	そ の 他	9	2	3					4		7				0
	小 計	198	7	31	41	3	35	1	8	21	140	28	0	23	51

# 数量別危険物施設数

令和4年度

市 町 別	施設別 数量別	合計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計
	合計	696	13	116	163	9	124	2	35	26	475	101	2	105	208
御 殿 場 市	5倍以下	174		29	23	4	44	1	23	2	126	11	2	35	48
	5倍を超え10倍以下	96	1	22	24	1	20		1	2	70	4		21	25
	10倍を超え50倍以下	141	2	22	56	1	12		3	1	95	25		19	44
	50倍を超え100倍以下	26	1	3	12		3				18	5		2	7
	100倍を超え150倍以下	17		4			4				8	6		3	9
	150倍を超え200倍以下	14	1	2	4		2				8	5			5
	200倍を超え1000倍以下	27	1	2	3		4				9	17			17
	1000倍を超え5000倍以下	3		1							1				2
小 計	498	6	85	122	6	89	1	27	5	335	73	2	82	157	
小 山 町	5倍以下	52	1	7	5		18	1	4	1	36	9		6	15
	5倍を超え10倍以下	49	1	9	6	2	14			6	37	2		9	11
	10倍を超え50倍以下	60	3	8	21	1	3		2	11	46	6		5	11
	50倍を超え100倍以下	20	2	2	9				2	2	15	2		1	3
	100倍を超え150倍以下	6									0	5		1	6
	150倍を超え200倍以下	5		1						1	2	2		1	3
	200倍を超え1000倍以下	6		4							4	2			2
	1000倍を超え5000倍以下	0									0				0
小 計	198	7	31	41	3	35	1	8	21	140	28	0	23	51	

業態別危険物施設の状況

令和4年度

市 町 別	施設別 業態別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所									取 扱 所			
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計	
合 計		696	13	116	163	9	124	2	35	26	475	101	2	105	208	
御 殿 場 市	石 油 類 等 販 売	56			2				20		22	28		6	34	
	一 般 会 社	276	6	74	81	4	37			5	201	15		54	69	
	自 衛 隊	56		6	21		4		6		37	7		12	19	
	宿 泊 所	21			3		15				18			3	3	
	商 店 ( 販 売 )	2									0			2	2	
	官 公 署	30		1	14		9				24	2		4	6	
	病 院 等	4		1	1	1	1				4				0	
	運 輸 会 社	11		1			1				2	9			9	
	塗 料 販 売	4		2							2		2		2	
	そ の 他	38				1	22	1	1		25	12		1	13	
	小 計	498	6	85	122	6	89	1	27	5	335	73	2	82	157	
小 山 町	石 油 類 等 販 売	14							4		4	7		3	10	
	一 般 会 社	111	7	23	31	3	15			21	93			11	11	
	自 衛 隊	20		6	8		1				15	2		3	5	
	宿 泊 所	4					3				3			1	1	
	商 店 ( 販 売 )	3									0			3	3	
	官 公 署	6					5				5			1	1	
	病 院 等	2					2				2				0	
	運 輸 会 社	9		2					4		6	3			3	
	塗 料 販 売	0									0				0	
	そ の 他	29			2		9	1			12	16		1	17	
	小 計	198	7	31	41	3	35	1	8	21	140	28	0	23	51	

# 危険物関係届出状況

令和4年度

市町別	施設別 区分	合計	製造所	貯蔵所								取扱所			
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	小計
合計		144	2	26	25	0	18	0	4	1	74	35	0	33	68
御殿場市	危険物保安監督者選解任届	90	2	16	17		10			1	46	21		21	42
	危険物種類数量変更届	7		2	2						4	1		2	3
	危険物施設譲渡引渡届	4					1		2		3	1			1
	危険物施設用途廃止届	8					2		2		4	1		3	4
	小計	107	2	18	19	0	13	0	4	1	55	24	0	26	50
小山町	危険物保安監督者選解任届	24		5	3		3				11	9		4	13
	危険物種類数量変更届	5		1	3						4			1	1
	危険物施設譲渡引渡届	0									0				0
	危険物施設用途廃止届	8		2			2				4	2		2	4
	小計	37	0	8	6	0	5	0	0	0	19	11	0	7	18

## 令和5年度 危険物安全推進標語

『 意志つなぐ 連携プレーで 事故防ぐ 』

## 危険物施設許可・完成検査件数

令和4年度

施設別 処理状況	年度	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	小計	
許可	設置	R4	10	2	4							6	1		3	4
		R3	8	2			1			1	4	2		2	4	
		R2	9	1	1	1	1		1		5	2		3	5	
	変更	R4	99	31	4	5		1		3		13	11		44	55
		R3	102	23	4	6		1			4	5	15		49	64
		R2	55	8	1	3	1	2		4		11	10		45	55
完成検査	設置	R4	10	2	3		1			1	7	1		2	3	
		R3	9	1	1	1				1	4	3		2	5	
		R2	11	1	2	2		1		1	1	7	1		2	3
	変更	R4	94	27	4	5		1			3	13	10		44	54
		R3	102	22	4	6		1			4	15	15		50	65
		R2	70	9	1	3	1	2		4		11	9		41	50

## 過去10年間の許可・完成検査・廃止届出件数の推移

年 区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
設置許可	19	7	12	6	8	11	9	10	8	10
変更許可	100	85	73	105	71	79	55	74	102	99
完成検査	123	93	72	121	75	86	58	81	111	104
廃止届	24	18	13	18	24	18	6	7	21	16

※14年刊行版から年度表示

令和4年度

## 申請手数料収入状況

(単位:円)

合計	設置	変更	完成	水張	水圧	仮使用	仮貯仮取扱	再交付
4,925,500	289,000	2,521,500	1,313,500	66,200	66,000	496,800	162,000	10,500

## 広報活動の概要

令和4年度

区 分	内 容	時 期	備 考
報 道 対 応	新聞社等に情報の提供	随 時	市内の報道機関5社
広 報 紙	御殿場市、小山町の広報紙に火災予防や救急等の記事を掲載し防災意識の高揚を図る	随 時	広報ごてんば 広報おやま
施 設 見 学	行政視察	年 間	
	各種団体施設見学	年 間	
	保育園・幼稚園消防署見学	5月～11月	
	小学3年生社会科見学	5・6・11月	
火災予防啓発推進事業	危険物安全週間街頭広報	6月10日	中止
	「救急の日」広報	9月5日～11日	救急医療週間
	火災予防広報	10月	御殿場・小山 IFC23園
	防火ポスター	11月	BFC 御殿場南中・沼田 IFC 保育園4園
防 災 訓 練	静岡県総合防災訓練	9月1日	
	地域防災訓練	11月28日 12月5日	モデル地区 市内一斉
無 線 通 報	消防だより	随 時	
	火災予防一口広報	火災予防週間	小山町
	防災の日（毎月第3日曜日）		小山町
	火災予防広報	随 時	

令和5年度 全国統一防火標語

『 火を消して 不安を消して つなぐ未来 』

## 高齢者の防火訪問診断実施状況

令和4年度

市 町 別	実 施 時 期	対 象 世 帯 数	実 施 数
御 殿 場 市	春・秋季火災予防運動中等	0	0
小 山 町	春・秋季火災予防運動中等	0	0
合 計		0	0

※令和4年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、対象地区に防火リーフレット等の回覧を実施。

## 防火指導・講習・訓練実施状況

令和4年度

対 象 団 体	実 施 回 数	実 施 内 容 ( 回 )					受 講 人 数	指 職 員 導 数
		救 急	講 話	花 火	消 訓 防 練	そ の 他		
合 計	51	3	2	27	6	13	1,423	225
自 主 防 災 会	2					2	12	8
事 業 所	4				4		123	17
消 防 ク ラ ブ	27			22		5	793	150
消 防 団	1					1	12	7
小学校・中学校・高等学校	4		1			3	76	18
幼 稚 園 ・ 保 育 園	8			5	1	2	307	13
そ の 他 の 団 体	5	3	1		1		100	12

## 救命講習会実施状況

令和4年度

内 容	回 数	受 講 者 数
普 通 救 命 講 習 会 I	23	189
普 通 救 命 講 習 会 II	5	46
普 通 救 命 講 習 会 III	5	41
上 級 救 命 講 習 会	3	21
合 計	36	297

## 甲種防火管理者資格取得講習会受講者数

(単位:人)

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受 講 者 数	162	161	43	98	197

※令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため縮小して実施。

## 甲種防火管理者再講習会受講者数

(単位:人)

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受 講 者 数	23	16	0	33	22

※令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため実施せず。

# 御殿場市小山町防火安全協会

- 1 目的 事業所における防火管理及び危険物等の保安管理の向上を図り、  
火災等の災害を防止し、自主的な活動を推進するとともに、消防機関と  
密接な連絡を保ち、会員相互の親睦を図ることにより、事業の健全なる振興  
発展と社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。
- 2 名称 御殿場市小山町防火安全協会
- 3 事務局 御殿場市東田中一丁目19番1号  
御殿場市・小山町広域行政組合消防本部予防課内  
電話 0550-83-0119
- 4 設立 平成16年5月28日
- 5 組織 (1) 会長 1名  
(2) 顧問 2名  
(3) 相談役 1名  
(4) 副会長 4名  
(5) 監事 2名  
(6) 会計 2名  
(7) 理事 22名
- 6 会員数 令和5年3月31日現在 283会員  
一般防火対象物の会員 危険物を貯蔵、取扱う施設の会員  
(1) 事務所その他の施設 32 (1) 給油取扱所 29  
(2) 物販店 8 (2) LPガス販売所 16  
(3) 旅館・ホテル 29 (3) 灯油販売所 2  
(4) ゴルフ場・リクレーション施設 6 (4) 工場・事業所 99  
(5) 工場 16 (5) 塗料販売所 2  
(6) 飲食店 19 (6) 賛助事業所 2  
(7) 研修所・研究所 7  
(8) パチンコ店 1  
(9) 病院・医院 13
- 7 年間予算 3,800,000 円
- 8 事業 (1) 防火管理並びに危険物等の取扱いと管理に関する研究、調査  
(2) 講習会、懇談会の開催  
(3) 消防関係法令の周知徹底  
(4) 防火・安全の普及、宣伝  
(5) 特に功労のあった事業所、団体及び会員等の表彰  
(6) 所管官庁との連絡、協力  
(7) 会員相互の融和及び情報交換  
(8) その他、この会の目的を達成するため必要な事業

# 御殿場小山幼少年防火委員会

御殿場市及び小山町の幼年消防クラブ、少年消防クラブ、婦人防火クラブ育成強化を通して地域の自主防災組織の育成と防火防災意識の高揚をはかるために昭和56年5月1日に「御殿場小山少年婦人防火委員会」が発足し、平成23年5月に「御殿場小山幼少年女性防火委員会」、令和2年5月に「御殿場小山幼少年防火委員会」と改名しました。

- (1) 会 長 1名
- (2) 委 員 11名
- (3) 事務局 御殿場市東田中一丁目19番1号  
御殿場市・小山町広域行政組合消防本部予防課内  
電話 0550-83-0119

## 1 幼年消防クラブ：24

保育園の年長児を中心として、年間活動を通して火災予防についての理解を深めている。  
主な内容は、任命式、救助隊見学、花火教室、修了式等を実施している。

### クラブ状況

御殿場市：18

クラブ名	結 成	クラブ名	結 成
玉穂第1保育園	昭和57年5月	原里第2保育園	昭和62年5月
富岳保育園	昭和57年5月	双葉保育園	昭和62年5月
西 保 育 園	昭和59年5月	高根学園保育所	昭和63年5月
高根第1保育園	昭和60年5月	萩原保育園	昭和63年5月
すみれこども園	昭和60年5月	高根第2保育園	昭和63年5月
東 保 育 園	昭和61年5月	玉穂第2保育園	昭和63年5月
原里第1保育園	昭和61年5月	とらのご保育園	平成23年4月
神I認定こども園	昭和61年5月	みらい保育園	平成26年4月
印野こども園	昭和62年5月	認定こども園がらんこ	令和5年4月

小山町：6

クラブ名	結 成
すがぬまこども園	昭和58年5月
すばしりこども園	昭和58年5月
きたごうこども園	昭和59年5月
するがおやまこども園	昭和60年5月
菜の花こども園	平成29年4月
みらいこども園	令和3年4月

## 2 少年消防クラブ：2

地域のクラブは、地域での各種活動をとおして、各家庭へ防火を呼びかけている。

中学校のクラブは、学校の授業として活動し、防火ポスター作成や実習等の活動を通して消防の正しい理解と防火防災意識高揚を図っている。

### クラブ状況

ク ラ ブ 名	結 成	主 な 活 動
沼田少年消防クラブ	大正3年8月	地域家庭に防火の呼びかけ 防火ポスター作成・防火防災体験学習等
御殿場市立南中学校少年消防クラブ	昭和56年4月	防火ポスター作成・防火防災体験学習等



## 4 警 防

災害現場に於ける安全管理の根幹である個別警防計画に基づく検証を行い、消防機械器具の近代化、消防水利の整備を積極的に推進し、限られた機械、人員、水利等を最大限に活用して、各種災害に迅速・有効に機能する体制を構築し消防力の強化とその任務を遂行するために日夜努力し地域住民の安全確保に努めています。



(はしご車放水訓練)



(緊急消防援助隊後方活動支援訓練)

消防本部・消防署配置車両

令和5年4月1日現在

		車 両 種 別	登 録 番 号	車 名	登録年月	経過 年数	排気量等 ポンプ種別等	機装会社 (型別)	車種
消 防 本 部		指令車	富士山803さ2175	トヨタ	H28.11	6	1.790		アリオン
		広報車	富士山803さ2706	三菱	H31.1	4	3.020		バジェロ
		広報車	富士山503さ172	ニッサン	H20.11	14	1.990		セレナ
		査察車	富士山403さ4576	ニッサン	H24.7	10	1.590		ADバン
		その他の車両	富士山581あ3234	ダイハツ	H17.12	17	0.650		アトレー
消 防 署	御 殿 場 消 防 署	消防ポンプ 自動車	富士山803さ1781	日野	H27.2	8	4.000ディーゼル4WD A-2級 2段バランスポンプ	島山 ポンプ	CD-1
		水槽付消防 ポンプ自動車	富士山803は356	日野	R2.1	3	5.120ディーゼル A-2 2段バランスポンプ1,500ℓ	島山 ポンプ	I-B
		化学消防 ポンプ自動車	富士山803は105	日野	H23.2	12	6.400ディーゼル泡消火薬液槽500ℓ A-2 2段バランスポンプ1,300ℓ	島山 ポンプ	II型
		救助工作車	富士山840さ 119	日野	H17.2	18	6.400ディーゼル	テイセン	II型
		はしご付消防 ポンプ自動車	富士山840す2021	日野	R4.1	1	8.860ディーゼル・35m級 先端屈折式伸縮水路管付	モリタ	専用 ジャンパー
		小型動力ポンプ付 水槽車	富士山803は19	日野	H13.3	22	20.780	島山 ポンプ	II型
		救急自動車	富士山803さ3175	トヨタ	R3.1	2	2.690	テクノラフト	高規格
		救急自動車	富士山803さ3627	トヨタ	R5.2	2	2.690	テクノラフト	高規格
		指揮車	富士山803さ2465	トヨタ	H30.2	5	2.690	ケイショウ	ハイエース
		資機材搬送車	富士山803さ2948	いすゞ	R2.2	3	2.990ディーゼル4WD	ケイショウ	エルフ
	後方支援車	富士山803さ1344	三菱	H25.2	10	2.990ディーゼル4WD	(株)パibro		
	富 士 岡 分 署	水槽付消防 ポンプ自動車	富士山803は22	日野	H19.2	16	6.40ディーゼル 4WD A-2 2段バランスポンプ1,500ℓ	島山 ポンプ	I-A型
		救急自動車	富士山803さ1557	トヨタ	H26.2	9	2.690	テクノラフト	高規格
その他の車両		富士山481う2261	ダイハツ	H26.2	9	0.650 4WD		ハイゼット	
西 分 署	水槽付消防 ポンプ自動車	富士山803は272	日野	H29.2	6	6.40ディーゼル 4WD A-2 2段バランスポンプ1,500ℓ	島山 ポンプ	I-B型	
	救急自動車	富士山803さ2715	トヨタ	H31.1	4	2.690	テクノラフト	高規格	
	その他の車両	富士山481え1735	ダイハツ	H28.8	6	0.650		ハイゼット	
小 山 消 防 署	指 令 車	富士山803さ1875	トヨタ	H27.7	7	1.790		アリオン	
	消防ポンプ 自動車	富士山803さ1551	日野	H26.2	9	4.000ディーゼル4WD A-2級 2段バランスポンプ	島山 ポンプ	CD-1	
	水槽付消防 ポンプ自動車	富士山803は20	日野	H19.3	16	6.40ディーゼル 4WD A-2 2段バランスポンプ1,500ℓ	島山 ポンプ	I-A型	
	救助工作車	富士山803は300	日野	H29.12	5	6.40ディーゼル	テイセン	II型	
	救急自動車	富士山803さ1340	トヨタ	H25.2	10	2.690	テクノラフト	高規格	
	その他の車両	富士山481あ4944	ホンダ	H21.12	13	0.650 4WD	ホンダ	アクティ	
須 走 分 署	水槽付消防 ポンプ自動車	富士山803は23	日野	H20.2	15	6.40ディーゼル 4WD A-2 2段バランスポンプ1,500ℓ	島山 ポンプ	I-A型	
	救急自動車	富士山803さ699	トヨタ	H22.10	12	2.690	テクノラフト	高規格	
	その他の車両	富士山481え8265	スズキ	H30.6	4	0.650 4WD		キャリー	

# 救助資機材整備状況

令和5年4月1日現在

No.	品名	御殿場 消防署	富士岡 分署	西分署	小山 消防署	須分 走署	合計
1	ファイバースコープ	1			1		2
2	夜間用暗視カメラ	1			1		2
3	空気式救助マット	1	1	1	1	1	5
4	油圧救助器具	2	1	1	1	1	6
5	マット型空気ジャッキ	2	1	1	2	1	7
6	油圧アルミジャッキ	7	3	4	5	3	22
7	可搬式けん引機 (TU-16以上)	2	1	1	1	1	6
8	ワイヤーロープ(12mm×3m以上)	16	4	5	4	5	34
9	ワイヤーロープ(16mm×3m以上)	7	2	2	1	2	14
10	シャックル 3/4 インチ	6	4	3	4	3	20
11	シャックル 7/8 インチ	9	3	3	4	3	22
12	滑車ダブル(オーフ式スナッチ付き)	2	1	1	1	1	6
13	滑車シングル(アルミ製)	7	2	3	6	3	21
14	ガス溶断機 (背負い式)	2	1	1	2	1	7
15	予備ボンベ(アセチレン・酸素)	2	1	1	2	1	7
16	エンジンカッター	3	2	2	2	2	11
17	チェーンソー	5	1	3	2	2	13
18	削岩機	5	1	1	1		8
19	電動ハンマー	1	1	1	1	1	5
20	衝撃式破壊器具	2	1	1	1	1	6
21	万能斧 (弁慶)	8	1	1	4	1	15
22	発動発電機 (1kW以上)	1	1	1	5	4	12
23	ハロゲン投光器(500W・三脚付き)	11	3	2	5	2	23
24	三連はしご	3	1	1	2	1	8
25	携帯拡声器	12	2	2	7	2	25
26	ナタ・ノコセット	21	6	6	8	5	46
27	大型バール (105cm)	16	6	3	8	7	40
28	ハンマー (3.5kg)	18	5	5	8	5	41
29	掛矢	10	5	5	7	3	30
30	ナイロンロープ (12mm×200m)	2	1	1			4
31	クレモナロープ (10mm×100m)		1	1			2
32	カラビナ (スチール0型)	52	39	23	56	25	195
33	折り畳み担架及び平担架	2	1	1	3	1	8
34	バスケット型担架	2	1	1	1	1	6
35	化学剤検知器	1					1
36	個人線量計	15					15
37	γ線及びX線用線量率計	3			1		4
38	表面汚染測定器(α, β, γ, x線)	1					1

令和5年度水防費・災害対策費当初予算額

(単位：千円)

節	御殿場市			小山町		
	令和5年度	令和4年度	比較	令和5年度	令和4年度	比較
	167	165	2	0	0	0
報酬	7	7	0			0
職員手当等	5	5	0			0
報償費			0			0
旅費			0			0
需用費	127	125	2			0
役務費			0			0
委託料			0			0
使用料及び賃借料			0			0
原材料費	28	28	0			0
	80,449	73,440	7,009	56,333	52,731	3,602
報酬	6,220	6,194	26	2,293	2,209	84
職員手当等	1,268	1,302	△34	15,232	12,117	3,115
共済費	1,125	1,138	△13	7,325	5,791	1,534
賃金			0			0
報償費			0	1,280	250	1,030
旅費	194	194	0	237	237	0
需用費	16,415	10,206	6,209	13,252	14,772	△1,520
役務費	5,707	4,420	1,287	1,816	1,368	448
委託料	7,071	6,528	543	2,007	3,480	△1,473
使用料及び賃借料	393	393	0	1,323	1,447	△124
工事請負費			0			0
原材料費			0			0
備品購入費	2,739	1,964	775	2,420	3,209	△789
負担金補助及び交付金	39,282	38,975	307	9,148	7,842	1,306
公課費	35		35		9	△9
繰出金	0	2,126	△2,126			0

# 消防水利現況

御殿場市

令和5年4月1日現在

水利の別		分団・地区	合計	御第一	富第二	原第三	玉第四	印第五	高第六
				分	分	分	分	分	分
				場	岡	里	穂	野	根
				団	団	団	団	団	団
合計			2,966	987	596	613	370	132	268
防 火 水 槽	1 0 0 m <sup>3</sup> 以上	公設	19	8	3	6	1	0	1
		私設	13	0	9	2	0	0	2
	60 m <sup>3</sup> 以上 100 m <sup>3</sup> 未満	公設	14	3	3	6	1	1	0
		私設	34	11	7	12	2	1	1
	40 m <sup>3</sup> 以上 60 m <sup>3</sup> 未満	公設	331	82	52	69	47	30	51
		私設	306	108	61	75	27	11	24
	40 m <sup>3</sup> 未 満	公設	144	5	18	40	35	44	2
		私設	85	28	22	21	11	0	3
	小	計	508	98	76	121	84	75	54
		私設	438	147	99	110	40	12	30
消 火 栓		公設	1,912	717	375	368	239	43	170
		私設	27	12	0	8	3	0	4
プ			17	5	3	6	1	1	1
池 ・ そ の 他			8	1	3	0	2	1	1
堰 止 施 設			56	7	40	0	1	0	8

小山町

令和5年4月1日現在

水利の別		分団・地区	合計	小第一	菅第二	藤第三	足第四	北第五	北第六	須第七
				分	分	分	分	分	分	分
				山	沼	曲	柄	北	郷	走
				団	団	団	団	団	南	団
合計			983	123	79	125	112	198	220	126
防 火 水 槽	1 0 0 m <sup>3</sup> 以上	公設	0	0	0	0	0	0	0	0
		私設	0	0	0	0	0	0	0	0
	60 m <sup>3</sup> 以上 100 m <sup>3</sup> 未満	公設	1	1	0	0	0	0	0	0
		私設	2	0	0	0	1	1	0	0
	40 m <sup>3</sup> 以上 60 m <sup>3</sup> 未満	公設	154	12	10	18	15	29	38	32
		私設	31	3	2	6	2	8	5	5
	40 m <sup>3</sup> 未 満	公設	16	1	0	4	5	1	1	4
		私設	8	0	0	2	0	1	2	3
	小	計	171	14	10	22	20	30	39	36
		私設	41	3	2	8	3	10	7	8
消 火 栓		公設	645	99	55	73	77	121	143	77
		私設	34	2	0	6	0	24	1	1
プ			8	0	1	2	2	2	0	1
池 ・ そ の 他			0	0	0	0	0	0	0	0
堰 止 施 設			84	5	11	14	10	11	30	3



## 5 通 信

通信指令課では、御殿場市・小山町からの 119 番通報を受信し、「高機能消防指令システム」によって出動車両を自動編成し、所属する消防署・分署に対して出動指令を行うとともに、無線により出動隊と情報共有を図り、状況に応じて車両を増強するなどの業務を行っています。

また、救急通報は近年増加しており、傷病者救命のために救急隊が到着するまでの時間を最大限生かすため、応急手当が必要と認める場合には、容態に応じた口頭指導を行っています。

今後も住民の安心安全を守るために、出動隊との情報共有、救命率の向上を目指し努めていきます。

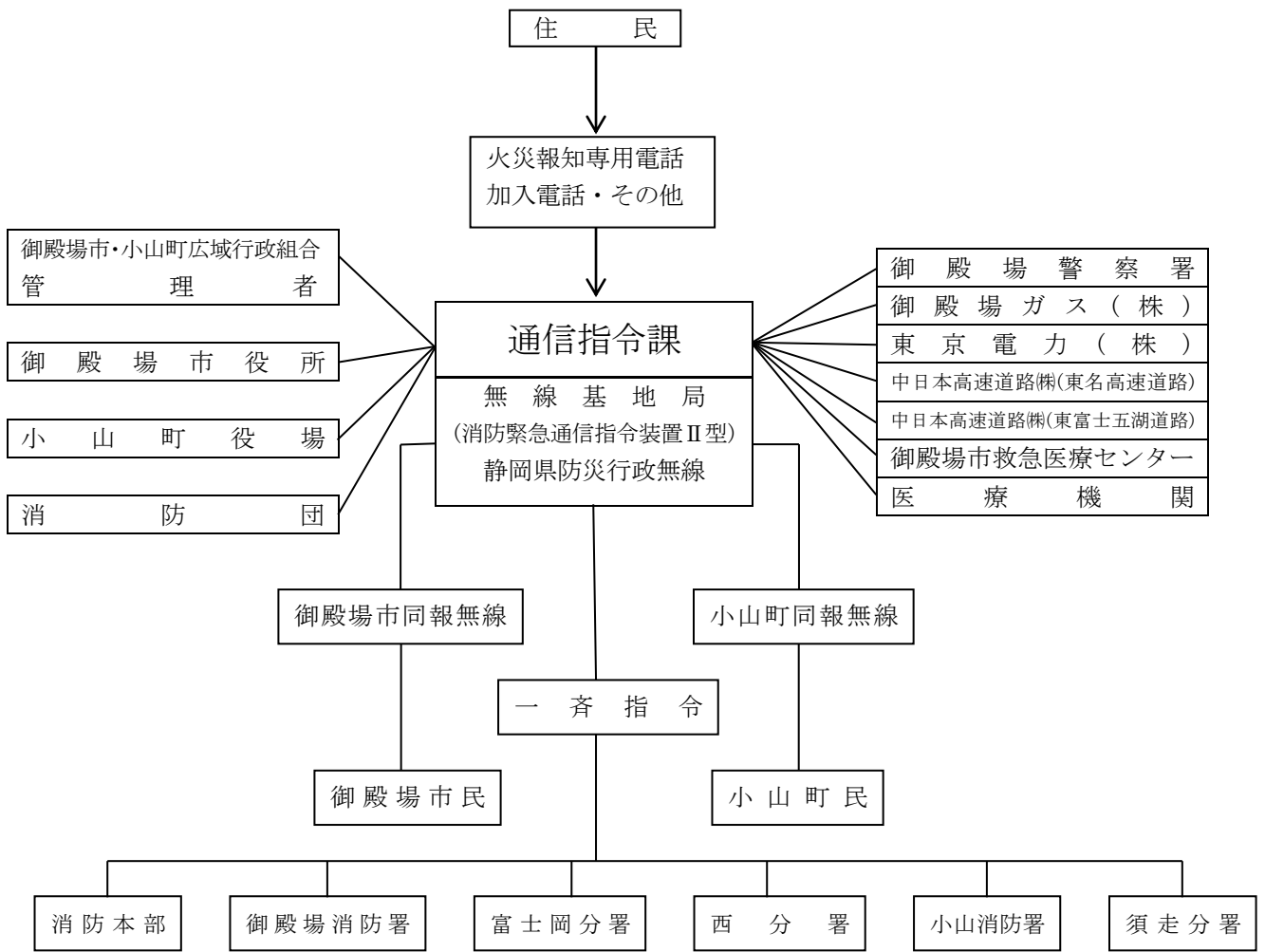


(通信指令室)

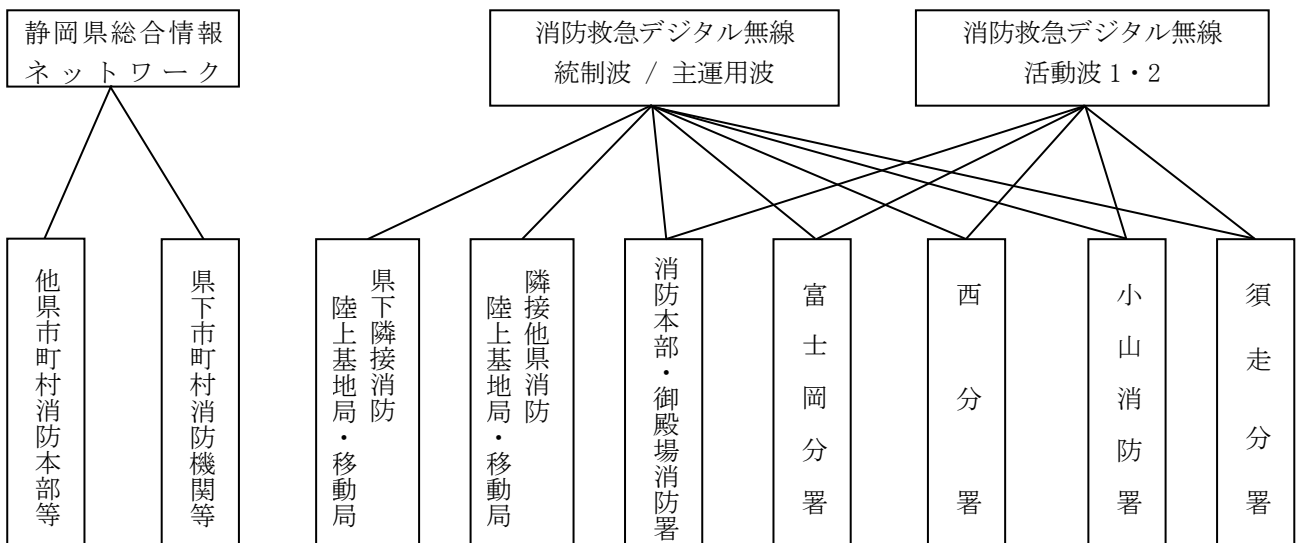




# 通信系統図



# 無線系統図



デジタル無線陸上移動局・携帯局

令和5年4月1日現在

区分 配置	名称	活動波 1	活動波 2	主運用波	統制波 1	統制波 2	統制波 3	出力 W	区分 配置	名称	活動波 1	活動波 2	主運用波	統制波 1	統制波 2	統制波 3	出力 W
消防本部・御殿場消防署	ごてんば 1	○	○	○	○	○	○	10	西 分 署	ごてんば 4	○	○	○	○	○	○	10
	〃 2	○	○	○	○	○	○	10		〃 54 (卓上)	○	○	○	○	○	○	10
	〃 すいそう1	○	○	○	○	○	○	10		〃 さぎよう4	○	○	○	○	○	○	10
	〃 かがく1	○	○	○	○	○	○	10		〃 きゆうきゆう4	○	○	○	○	○	○	10
	〃 はしご1	○	○	○	○	○	○	10		〃 401 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5
	〃 きゆうじよ1	○	○	○	○	○	○	10		〃 402 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5
	〃 しき 1	○	○	○	○	○	○	10		〃 403 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5
	〃 61 (可搬型)	○	○	○	○	○	○	10		小計	7	7	7	7	7	7	
	〃 さぎよう1	○	○	○	○	○	○	10		署活動用	6						1
	〃 しえん 1	○	○	○	○	○	○	10		小 山 消 防 署	おやま 1	○	○	○	○	○	○
	〃 きゆうきゆう1	○	○	○	○	○	○	10	〃 2		○	○	○	○	○	○	10
	〃 きゆうきゆう2	○	○	○	○	○	○	10	〃 きゆうじよ1		○	○	○	○	○	○	10
	〃 ほんぶ 1	○	○	○	○	○	○	10	〃 しき 1		○	○	○	○	○	○	10
	〃 ほんぶ 2	○	○	○	○	○	○	10	〃 51 (卓上型)		○	○	○	○	○	○	10
	〃 ほんぶ 3	○	○	○	○	○	○	10	〃 61 (可搬型)		○	○	○	○	○	○	10
	〃 ほんぶ 4	○	○	○	○	○	○	10	〃 さぎよう1		○	○	○	○	○	○	10
	〃 ほんぶ51 (卓上型)	○	○	○	○	○	○	10	〃 きゆうきゆう1		○	○	○	○	○	○	10
	〃 101 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 101 (携帯)		○	○	○	○	○	○	5
	〃 102 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 102 (携帯)		○	○	○	○	○	○	5
	〃 103 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 103 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	
	〃 104 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 104 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	
	〃 105 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 105 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	
	〃 106 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 106 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	
	〃 107 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 107 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	
	〃 108 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	小計	15	15	15	15	15	15		
	〃 109 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	署活動用	9						1	
	〃 110 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	須 走 分 署	おやま 3	○	○	○	○	○	○	10
	〃 111 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		〃 53 (卓上型)	○	○	○	○	○	○	10
	〃 112 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		〃 さぎよう3	○	○	○	○	○	○	10
	〃 201 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		〃 きゆうきゆう3	○	○	○	○	○	○	10
〃 202 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 301 (携帯)		○	○	○	○	○	○	5	
〃 203 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 302 (携帯)		○	○	○	○	○	○	5	
〃 204 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 303 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		
〃 205 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	小計	7	7	7	7	7	7			
小計	34	34	34	34	34	34		署活動用	6						1		
署活動用	25						1										
富士岡分署	ごてんば 3	○	○	○	○	○	○	10	区分 配置	名称	活動波 1	活動波 2	主運用波	統制波 1	統制波 2	統制波 3	
	〃 53 (卓上型)	○	○	○	○	○	○	10			車載型	30	30	30	30	30	30
	〃 さぎよう3	○	○	○	○	○	○	10			卓上型	5	5	5	5	5	5
	〃 きゆうきゆう3	○	○	○	○	○	○	10			可搬型	2	2	2	2	2	2
	〃 301 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			携帯型	33	33	33	33	33	33
	〃 302 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			合計	70	70	70	70	70	70
	〃 303 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		署活動用合計	52						
小計	7	7	7	7	7	7											
署活動用	6						1										

# 無線基地局

令和5年4月1日現在

基地局名		ごてんばしょうぼう	おやましょうぼう	ごてんばしょうぼう たろうがおとんねる	ごてんばしょうぼう しんつぶらのとんねる
デジタル 無線	活動波 1	10W			
	活動波 2	10W	10W		
	主運用波	10W			
	統制波	10W		10W	10W

# 陸上移動局（防災相互通信波）

令和5年4月1日現在

名称		防災相互通信波	出力（W）
ごてんばぼうたい	52（可搬型）	○	10
〃	53（可搬型）	○	10
〃	201（携帯型）	○	5
〃	202（携帯型）	○	5
〃	203（携帯型）	○	5
〃	204（携帯型）	○	5
〃	205（携帯型）	○	5
〃	207（携帯型）	○	5
〃	208（携帯型）	○	5
ふじおかぼうたい	52（可搬型）	○	10
〃	201（携帯型）	○	5
〃	202（携帯型）	○	5
にしぼうたい	52（可搬型）	○	10
〃	201（携帯型）	○	5
〃	202（携帯型）	○	5
おやまぼうたい	52（可搬型）	○	10
〃	201（携帯型）	○	5
〃	202（携帯型）	○	5
すばしりぼうたい	52（可搬型）	○	10
〃	201（携帯型）	○	5
〃	202（携帯型）	○	5

可搬型	6
携帯型	15
合計	21

通信施設・電話

令和5年4月1日現在

区 分		種 別	数	摘 要	
消 防 本 部	管理課	一般加入電話	1	82-4628	
		F A X	1	82-7153	
	予防課	一般加入電話	1	83-0119	
	警防課	一般加入電話	1	83-8151	
	通信指令課	一般加入電話	1	83-8152	
		119	30	御殿場局 5局・玉徳局 4局・神山局 2局・衛星局 1局 小山局 2局・用沢局 2局・須走局 2局・直接受信携帯電話 3局 ソフトバンク 3局・NTTひかり 2局・KDDI 1局 楽天コミュニケーションズ 2局・CTC 1局	
		緊急連絡用電話	1	発信専用(指令台)順次指令	
		専用回線	25	富士岡分署、西分署、小山消防署、須走分署 御殿場市役所、小山町役場、警察署 東名高速道路、東富士五湖道路 東京電力(株)外付け	
			F A X	2	83-8180 (聴覚障害者用・83-8383)
			N E T 1 1 9	1	NET119緊急通報システム (聴覚・言語機能障害者用)
			災害・一般案内	1	84-5000
	消 防 署	御殿場消防署	一般加入電話	3	82-7150・82-7151・82-7152
F A X			1	82-7154	
富士岡分署		一般加入電話	1	87-0119	
		F A X	1	87-2286	
西分署		一般加入電話	1	88-0119	
		F A X	1	88-0750	
小山消防署		一般加入電話	1	76-0119	
		F A X	1	76-5435	
		緊急連絡用電話	1	非公開	
須走分署		一般加入電話	1	75-2001	
		F A X	1	75-3385	

火災報知専用電話・携帯電話別 119番受付回数

令和4年

種別 月	合計		小計		火災		救急		救助		通報訓練		病院案内		いたずら まちがい		警戒		その他		試験	
	合計	火災報知専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	
合計	6,514	3,475	3,039	44	26	2,830	2,305	12	20	187	32	13	35	54	247	16	19	124	343	195	12	
1月	546	301	245	4	3	242	183	1	1	13	1	1	4	2	25	2	2	17	26	19	0	
2月	469	276	193	4	0	230	152	0	0	12	1	2	3	6	15	2	0	12	22	8	0	
3月	494	290	204	8	6	227	163	0	1	22	0	0	1	2	14	2	1	14	18	15	0	
4月	489	261	228	2	1	215	174	2	0	15	1	0	4	4	26	0	1	4	19	19	2	
5月	497	246	251	3	4	202	180	0	2	10	0	3	1	2	26	0	1	3	37	23	0	
6月	531	285	246	5	1	223	166	0	0	19	11	0	3	4	19	0	2	10	36	24	8	
7月	583	271	312	2	1	228	225	3	3	8	7	2	4	5	24	0	0	9	47	14	1	
8月	627	317	310	4	3	282	240	5	5	6	0	0	5	4	24	4	2	6	31	6	0	
9月	580	299	281	4	1	242	208	0	2	19	3	1	4	7	20	1	1	17	41	8	1	
10月	567	299	268	3	1	242	206	0	3	15	1	1	4	9	29	0	4	15	20	14	0	
11月	528	306	222	1	4	241	182	0	1	30	5	0	0	6	11	1	1	8	18	19	0	
12月	603	324	279	4	1	256	226	1	2	18	2	3	2	3	14	4	4	9	28	26	0	

## 6 火災統計

令和4年の火災件数は、24件（御殿場市14件、小山町8件、東名高速道路2件）で前年に比べ9件減少し、このうち建物火災が11件で火災全体の46%を占めました。

火災損害額は、約29,321千円で前年より約73,575千円減少しました。



（建物火災原因調査）

## 火災概要

区 分		令和4年	令和3年	増 減	
火災件数	建 物 火 災	11	18	△ 7	
	林 野 火 災			0	
	車 両 火 災	5	6	△ 1	
	船 舶 火 災			0	
	航 空 機 火 災			0	
	そ の 他 火 災	8	9	△ 1	
	計	24	33	△ 9	
損害額 (千円)	建 物 火 災	23,899	88,808	△ 64,909	
	林 野 火 災			0	
	車 両 火 災	5,117	12,926	△ 7,809	
	船 舶 火 災			0	
	航 空 機 火 災			0	
	そ の 他 火 災	305	1,162	△ 857	
	計	29,321	102,896	△ 73,575	
焼 損 面積等	建 物 (㎡)	床面積	352	983	△ 631
		表面積	5	6	△ 1
	林 野 火 災 ( a )		0	0	0
	車 両 ( 台 )		17	8	9
焼損棟数	全 焼		4	7	△ 3
	半 焼		0	1	△ 1
	部 分 焼		0	4	△ 4
	ぼ や		10	11	△ 1
	計		14	23	△ 9
り 災 世 帯	全 損		3	4	△ 1
	半 損			1	△ 1
	小 損		8	13	△ 5
	計		11	18	△ 7
り 災 人 員		24	35	△ 11	
死 傷 者 ( 人 )	死 者				0
	負 傷 者		1	8	△ 7
月 平 均	火 災 件 数 ( 件 )		2	3	△ 1
	損 害 額 ( 千 円 )		2,443	8,575	△ 6,132
全火災1件当りの損害額 (千円)		1,222	3,118	△ 1,896	

## 過去 10 年間の火災発生状況の推移

区 分 年	火災	損害額(千円)	焼 損 延 面 積 等			焼損棟数	り災世帯	死者	負傷者
			建物(㎡)	林野(a)	車両(台)				
令和4年	24	29,321	352		17	14	11		1
令和3年	33	102,896	983		8	23	18		8
令和2年	29	34,345	282		7	15	10		3
令和元年	33	88,387	447		16	11	5		11
平成30年	26	4,911	51	55	4	12	7		3
平成29年	46	23,665	381	92	13	24	15	3	1
平成28年	23	13,879	410		6	14	6	1	2
平成27年	36	48,590	485	4	8	16	7	1	2
平成26年	29	52,725	434	13	5	20	6		2
平成25年	39	58,473	258	5,007	16	12	7		11

# 市町等別火災発生状況

令和4年

市町別	種別	件数	損害額 (千円)	焼損面積等				焼損棟数 (棟)	り災		死傷数	
				建物(m <sup>2</sup> )		林野 (a)	車両 (台)		世帯 (世帯)	人員 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)
				床面積	表面積							
合計	建物	11	23,899	352	5	0	11	14	8	24	0	1
	林野											
	車両	5	5,117				6					
	その他	8	305									
	合計	24	29,321	352	5	0	17	14	8	24	0	1
御殿場市	建物	6	3,040	10	5		5	7	4	13		
	林野											
	車両	2	1,111				3					
	その他	6	233									
	小計	14	4,384	10	5	0	8	7	4	13	0	0
小山町	建物	5	20,859	342	0		6	7	4	11		1
	林野											
	車両	1	51				1					
	その他	2	72									
	小計	8	20,982	342	0	0	7	7	4	11	0	1
東名高速道路	建物											
	林野											
	車両	2	3,955				2					
	その他											
	小計	2	3,955	0	0	0	2	0	0	0	0	0

# 地区別火災発生状況

令和4年

御殿場市			小山町			東名高速道路		
地区別	件数	損害額(千円)	地区別	件数	損害額(千円)	地区別	件数	損害額(千円)
合計	14	4,384	合計	8	20,982	合計	2	3,955
御殿場	4	1,141	小山	3	20,923	御殿場市内上り線	2	3,955
富士岡	3	242	足柄	1	2	御殿場市内下り線		
原里	3	2,604	北郷	3	53	小山町内上り線		
玉穂	2	335	須走	1	4	小山町内下り線		
印野	2	62						
高根								

# 月別火災発生件数

令和4年

区分 月別	火災種別(件)					(構成比率)	損害額(千円)				
	建物	林野	車両	その他	計		建物	林野	車両	その他	計
合計	11	0	5	8	24	100.00	23,899	0	5,117	305	29,321
1月	3			1	4	16.67	2,798			79	2,877
2月				1	1	4.17				0	0
3月	1		3	3	7	29.17	141		4,982	144	5,267
4月	2		1		3	12.50	20,923		80		21,003
5月	1			1	2	8.33	2			10	12
6月	1				1	4.17	2				2
7月					0	0.00					0
8月			1		1	4.17			55		55
9月					0	0.00					0
10月	1			1	2	8.33	1			72	73
11月	1				1	4.17	4				4
12月	1			1	2	8.33	28				28

## 時間別火災発生件数

令和4年

時間 種別	合計	0時～	2時～	4時～	6時～	8時～	10時～	12時～	14時～	16時～	18時～	20時～	22時～	不明
		2時未滿	4時未滿	6時未滿	8時未滿	10時未滿	12時未滿	14時未滿	16時未滿	18時未滿	20時未滿	22時未滿	24時未滿	
建 物	11					1	1	2		2	1	2	1	1
林 野	0													
車 両	5	1	1		2								1	
その他	8						3	2	2					1
計	24	1	1	0	2	1	4	4	2	2	1	2	2	2

## 覚知別火災発生件数

令和4年

市町別 種別	御 殿 場 市									
	小 計	火災報知電話 (加入除く)	火災報知電話 (加入)	火災報知電話 (携帯)	加入電話 (固定)	加入電話 (携帯)	警察電話	駆け付け通報	事後開知	その他
建 物	6				3	1			1	1
林 野	0									
車 両	2				2					
その他	6		1		3			1		1
計	14		1	0	8	1	0	1	1	2

市町別 種別	小 山 町									
	小 計	火災報知電話 (加入除く)	火災報知電話 (加入)	火災報知電話 (携帯)	加入電話 (固定)	加入電話 (携帯)	警察電話	駆け付け通報	事後開知	その他
建 物	5	1	1	2		1				
林 野	0									
車 両	1						1			
その他	2		1	1						
計	8	1	2	3	0	1	1	0	0	0

市町別 種別	東 名 高 速 道 路			
	小 計	火災報知電話 (携帯)	加入電話 (携帯)	その他
建 物	0			
林 野	0			
車 両	2			2
その他	0			
計	2	0	0	2

## 原因別火災発生件数

令和4年

出火原因	区 分	件 数				計	損 害 額 (千円)				計
		建 物	林 野	車 両	そ の 他		建 物	林 野	車 両	そ の 他	
合 計		11	0	5	8	24	23,899	0	5,117	305	29,321
電気機器		2				2	32				32
火入れ		1			3	4	2			79	81
電灯・電話等の配線		2				2	102				102
配線器具		2				2	2				2
たばこ					1	1				0	0
かまど		1				1	20,823				20,823
その他				2	3	5			3,980	143	4,123
不明		3		3	1	7	2,938		1,137	83	4,158



## 7 救急・救助統計

令和4年の救急出動件数は5,163件で、昨年より595件増加し、搬送人員は4,623人で、昨年より402人増加しました。

東名高速道路への救急出動は134件で、昨年より31件増加しました。

なお、新東名高速道路は134件中、10件の救急出動がありました。

救助出動は50件で38人を救出し、昨年より出動件数は8件減少し、救出人員は9人減少しました。



(御殿場消防署 救急車・救助工作車)

月別・事故種別救急活動状況

令和4年

事故種別 覚知月		火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	医師 搬送	資器材 等搬送	その他	合計
1	出動件数				30	4	1	60	1	4	255	72				427
	搬送件数				28	4	1	54	1	4	213	72				377
	搬送人員				29	4	1	54	1	4	213	72				378
2	出動件数				21	8		43		4	222	76				374
	搬送件数				20	8		36		1	183	76				324
	搬送人員				23	8		36		1	183	76				327
3	出動件数				26	2	2	49		3	234	76				392
	搬送件数				23	2	2	43		2	206	76				354
	搬送人員				26	2	2	43		2	206	76				357
4	出動件数				27	6	1	38	3	7	228	73				383
	搬送件数				23	6	1	38	2	3	196	73				342
	搬送人員				27	6	1	38	2	3	196	73				346
5	出動件数	1		1	41	3		50		3	204	80				383
	搬送件数			1	39	3		46		2	175	80				346
	搬送人員			1	44	3		47		2	176	80				353
6	出動件数				23	5	2	52		2	222	83				389
	搬送件数				22	5	2	46			192	82				349
	搬送人員				28	5	2	46			192	82				355
7	出動件数				33	13	5	44		2	286	73				456
	搬送件数				30	13	4	42		1	244	73				407
	搬送人員				33	13	4	42		1	244	73				410
8	出動件数				32	10		58	1	5	352	66			1	525
	搬送件数				31	10		53	1	3	273	65				436
	搬送人員				33	10		53	1	3	273	65				438
9	出動件数				34	11	2	56		4	268	66				441
	搬送件数				31	11	2	48		2	235	66				395
	搬送人員				34	11	2	48		2	235	66				398
10	出動件数				41	5	1	60		4	268	77		2		458
	搬送件数				40	4	1	55		3	230	77				410
	搬送人員				48	4	1	55		3	230	77				418
11	出動件数				29	4	1	65	3	2	246	84				434
	搬送件数				26	4	1	58	3	2	214	84				392
	搬送人員				30	4	1	58	3	2	214	84				396
12	出動件数			2	40	6	1	62	2	5	304	78			1	501
	搬送件数			2	34	6	1	55	1	3	262	78				442
	搬送人員			2	38	6	1	55	1	3	263	78				447
合計	出動件数	1	0	3	377	77	16	637	10	45	3089	904	0	2	2	5163
	搬送件数	0	0	3	347	76	15	574	8	26	2623	902	0	0	0	4574
	搬送人員	0	0	3	393	76	15	575	8	26	2625	902	0	0	0	4623

# 地区別・事故種別出動件数及び搬送人員

令和4年

事故種別 出動地区	事故種別														合計
	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器等搬送	その他	
御殿場	出動件数			1	76	13	2	230	6	14	955	599		1	1,897
	搬送人員			1	75	13	2	202	5	7	777	597			1,679
高根	出動件数				32	3		31		3	144	1			214
	搬送人員				34	3		26		2	122	1			188
原里	出動件数	1		1	39	13	1	74	1	15	513	150			808
	搬送人員			1	38	13	1	69	1	8	448	150			729
玉穂	出動件数			1	28	8	3	61	1	3	269	47			421
	搬送人員			1	28	8	3	54		1	223	47			365
印野	出動件数				4	1		9			52				66
	搬送人員				4	1		9			50				64
富士岡	出動件数				46	7	1	111	1	2	535	35		1	739
	搬送人員				47	7	1	106	1	2	455	35			654
小計	出動件数	1	0	3	225	45	7	516	9	37	2,468	832	0	1	4,145
	搬送人員	0	0	3	226	45	7	466	7	20	2,075	830	0	0	3,679
小山	出動件数				17	8		40		2	227	2		1	297
	搬送人員				20	8		35		2	205	2			272
足柄	出動件数				4	2	2	13			65				86
	搬送人員				4	2	2	13			59				80
北郷	出動件数				36	13	7	31	1	1	160	65			314
	搬送人員				36	13	6	28	1	1	145	65			295
須走	出動件数				24	6		28		5	114	5	1		183
	搬送人員				30	5		25		3	94	5			162
小計	出動件数	0	0	0	81	29	9	112	1	8	566	72		1	880
	搬送人員	0	0	0	90	28	8	101	1	6	503	72			809
東名上り	出動件数				51	1		6			39				97
	搬送人員				59	1		5			32				97
東名下り	出動件数				9	2		2			14				27
	搬送人員				9	2		2			13				26
御殿場IC	出動件数														0
	搬送人員														0
新東名	出動件数				8						2				10
	搬送人員				8						2				10
小計	出動件数	0	0	0	68	3	0	8	0	0	55	0	0	0	134
	搬送人員	0	0	0	76	3	0	7	0	0	47	0	0	0	133
その他	出動件数				3			1							4
	搬送人員				1			1							2
合計	出動件数	1	0	3	377	77	16	637	10	45	3,089	904	0	2	5,163
	搬送人員	0	0	3	393	76	15	575	8	26	2,625	902	0	0	4,623

# 地区別・傷病程度別・性別搬送人員

令和4年

傷病程度 性別 出動地区	傷病程度					合計	男性	女性
	死亡	重症	中等症	軽症	その他			
御殿場	21	172	940	546		1,679	919	760
高根	8	19	91	70		188	103	85
原里	18	71	392	248		729	386	343
玉穂	9	24	179	153		365	227	138
印野	2	7	30	25		64	35	29
富士岡	17	43	330	264		654	370	284
小計	75	336	1,962	1,306	0	3,679	2,040	1,639
小山	8	25	134	105		272	148	124
足柄	4	7	37	32		80	41	39
北郷	4	38	161	92		295	183	112
須走	3	12	75	72		162	79	83
小計	19	82	407	301	0	809	451	358
東名上り		4	25	68		97	62	35
東名下り		4	9	13		26	16	10
御殿場IC						0		
新東名上り						0		
新東名下り			3	4		7	5	2
新御殿場IC		1	2			3	3	
小計	0	9	39	85	0	133	86	47
その他		1		1		2	2	
合計	94	428	2,408	1,693	0	4,623	2,579	2,044

## 署別・月別出動件数及び搬送人員

令和4年

覚知月 出動署		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
		出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	
御殿場消防署	出動件数	190	162	159	175	172	145	174	227	201	187	186	225	2,203
	搬送人員	169	138	142	159	158	129	153	184	177	165	171	198	1,943
富士岡分署	出動件数	69	60	72	52	57	60	67	78	52	62	62	76	767
	搬送人員	57	51	67	44	45	54	59	64	50	59	60	71	681
西分署	出動件数	76	63	72	66	67	80	104	97	87	90	81	85	968
	搬送人員	68	55	64	61	68	74	94	79	73	78	69	74	857
小山消防署	出動件数	53	46	41	43	47	56	54	68	56	62	52	60	638
	搬送人員	47	42	37	41	46	55	51	58	55	62	47	56	597
須走分署	出動件数	39	43	48	47	40	48	57	55	45	56	53	55	586
	搬送人員	37	41	47	41	36	43	53	53	43	54	49	48	545
消防本部	出動件数										1			1
	搬送人員													0
合計	出動件数	427	374	392	383	383	389	456	525	441	458	434	501	5,163
	搬送人員	378	327	357	346	353	355	410	438	398	418	396	447	4,623

## 署別・曜日別出動件数及び搬送人員

令和4年

覚知曜日 出動署		月	火	水	木	金	土	日	合計
		出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	
御殿場消防署	出動件数	346	291	300	322	305	316	323	2,203
	搬送人員	308	257	267	277	269	283	282	1,943
富士岡分署	出動件数	114	97	126	106	117	100	107	767
	搬送人員	108	84	110	101	99	87	92	681
西分署	出動件数	142	132	156	143	130	134	131	968
	搬送人員	123	113	141	129	119	113	119	857
小山消防署	出動件数	91	81	92	93	86	87	108	638
	搬送人員	89	72	87	87	78	84	100	597
須走分署	出動件数	92	97	90	75	70	69	93	586
	搬送人員	85	92	85	71	64	62	86	545
消防本部	出動件数				1				1
	搬送人員								0
合計	出動件数	785	698	764	740	708	706	762	5,163
	搬送人員	713	618	690	665	629	629	679	4,623

## 曜日別・事故種別救急活動状況

令和4年

曜日		事故種別														合計	
		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材等搬送	その他		
月	出動件数				71	14		79		6	470	145					785
	搬送件数				68	14		68		2	406	145					703
	搬送人員				78	14		68		2	406	145					713
火	出動件数				42	16		79	1	7	417	136					698
	搬送件数				37	16		74	3	3	346	136					612
	搬送人員				42	16		74	3	3	347	136					618
水	出動件数			2	40	11		87	2	13	439	170					764
	搬送件数			2	39	11		75	2	8	382	169					688
	搬送人員			2	41	11		75	2	8	382	169					690
木	出動件数			1	57	13		103		7	417	139		2	1		740
	搬送件数			1	49	13		90		4	358	139					654
	搬送人員			1	59	13		90		4	359	139					665
金	出動件数				47	14	1	73	1	2	444	126					708
	搬送件数				41	13	1	70	1	1	373	126					626
	搬送人員				44	13	1	70	1	1	373	126					629
土	出動件数				61	7	5	88	2	3	447	93					706
	搬送件数				56	7	5	76	2	3	379	92					620
	搬送人員				64	7	5	77	2	3	379	92					629
日	出動件数	1			59	2	10	128	4	7	455	95			1		762
	搬送件数				57	2	9	121	3	5	379	95					671
	搬送人員				65	2	9	121	3	5	379	95					679
合計	出動件数	1	0	3	377	77	16	637	10	45	3,089	904		2	2		5,163
	搬送件数	0	0	3	347	76	15	574	8	26	2,623	902		0	0		4,574
	搬送人員	0	0	3	393	76	15	575	8	26	2,625	902		0	0		4,623

時間別・事故種別出動件数

令和4年

覚知時間	事故種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材等搬送	その他	合計
0 ~ 1					4	1		15	1	2	74	17				114
1 ~ 2					2	1		14	2		66	11			1	97
2 ~ 3					1	1		8		1	67	15				93
3 ~ 4					5			13		1	58	11				88
4 ~ 5					4			2	1		73	11				91
5 ~ 6				1	1			6	1	3	48	8				68
6 ~ 7					10			12	1	1	105	14				143
7 ~ 8					17	1		29	1	1	156	13				217
8 ~ 9					21	6		39		4	160	18				248
9 ~ 10				1	32	5	1	34	1	3	205	45				327
10 ~ 11					25	7	3	48		3	190	74			1	351
11 ~ 12		1			28	13	2	30	1	3	201	88				367
12 ~ 13					31	3	1	44		6	175	65				325
13 ~ 14					30	8	1	50		2	157	67				315
14 ~ 15					36	4	3	33	1	0	145	71				293
15 ~ 16					27	9	4	53		1	148	63		1		306
16 ~ 17					23	6	1	45			138	67				280
17 ~ 18				1	25	6		32	1	2	173	67				307
18 ~ 19					11	1		31		2	154	37		1		237
19 ~ 20					15	3		26		3	146	33				226
20 ~ 21					12			23			131	37				203
21 ~ 22					10			25		3	111	30				179
22 ~ 23					4	1		16		1	112	23				157
23 ~ 24					3	1		9		3	96	19				131
合計		1	0	3	377	77	16	637	10	45	3089	904	0	2	2	5163

年齢別・性別・事故種別搬送人員

令和4年

年齢 性別	事故種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
0~4	男性				5			29			71	17	122
	女性				2			18			42	14	76
	計	0	0	0	7	0	0	47	0	0	113	31	198
5~9	男性				2			12			13	8	35
	女性				3			5			15	7	30
	計	0	0	0	5	0	0	17	0	0	28	15	65
10~19	男性				23	1	3	16			33	9	85
	女性				11	1	2	4	1	2	39	7	67
	計	0	0	0	34	2	5	20	1	2	72	16	152
20~29	男性				38	9		3	1	2	78	11	142
	女性				17	2	1	3		4	72	11	110
	計	0	0	0	55	11	1	6	1	6	150	22	252
30~39	男性				33	9	4	14	2	1	51	13	127
	女性				15			2		1	66	22	106
	計	0	0	0	48	9	4	16	2	2	117	35	233
40~49	男性			1	33	11	2	21	1	3	96	38	206
	女性				29	1		8	2	3	80	21	144
	計	0	0	1	62	12	2	29	3	6	176	59	350
50~59	男性				48	8	3	37	1	1	166	65	329
	女性				24	3		22		1	74	26	150
	計	0	0	0	72	11	3	59	1	2	240	91	479
60~69	男性				26	16		24		2	159	64	291
	女性				17	2		22		1	90	29	161
	計	0	0	0	43	18	0	46	0	3	249	93	452
70~79	男性				14	10		52		2	305	114	497
	女性			1	17	1		44			178	83	324
	計	0	0	1	31	11	0	96	0	2	483	197	821
80以上	男性			1	20	1		95		2	475	151	745
	女性				16	1		144		1	522	192	876
	計	0	0	1	36	2	0	239	0	3	997	343	1,621
年令不明	男性												0
	女性												0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男性	0	0	2	242	65	12	303	5	13	1,447	490	2,579
	女性	0	0	1	151	11	3	272	3	13	1,178	412	2,044
	計	0	0	3	393	76	15	575	8	26	2,625	902	4,623

# 傷病程度別・性別・事故種別搬送人員

令和4年

事故種別		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
傷病程度	性別												
死亡	男性			1				3		3	48		55
	女性			0	2					1	36		39
	計	0	0	1	2			3	0	4	84	0	94
重症	男性			1	13	3		11		6	163	67	264
	女性				4	1		6		0	93	60	164
	計	0	0	1	17	4	0	17	0	6	256	127	428
中等症	男性				76	26	3	120	3	3	718	367	1,316
	女性			1	34	2	1	149		6	585	314	1,092
	計	0	0	1	110	28	4	269	3	9	1,303	681	2,408
軽症	男性				153	36	9	169	2	1	518	56	944
	女性				111	8	2	117	3	6	464	38	749
	計	0	0	0	264	44	11	286	5	7	982	94	1,693
その他	男性												0
	女性												0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男性	0	0	2	242	65	12	303	5	13	1,447	490	2,579
	女性	0	0	1	151	11	3	272	3	13	1,178	412	2,044
	計	0	0	3	393	76	15	575	8	26	2,625	902	4,623

# 救急出動10年間の推移

令和4年

区分		25年	26年	27年	28年	29年	30年	R1年	R2年	R3年	R4年
出動件数		4,162	4,322	4,330	4,499	4,626	4,874	4,924	4,243	4,568	5,163
事故種別	火災	8	4	5	3	3	3	10	3	5	1
	自然災害		1			2	2			1	
	水難事故		1	5	1			3	3	3	3
	交通事故	425	476	386	430	449	441	398	332	380	377
	労働災害	51	48	52	44	46	67	61	60	52	77
	運動競技	21	26	29	33	33	34	54	20	24	16
	一般負傷	596	598	591	586	588	665	669	594	633	637
	加害	16	19	12	12	12	9	15	9	5	10
	自損行為	46	45	38	37	38	44	40	55	30	45
	急病	2,226	2,293	2,384	2,511	2,526	2,705	2,721	2,350	2,483	3,089
その他	773	811	828	842	929	904	953	817	952	908	
搬送件数		3,912	4,098	4,107	4,222	4,295	4,580	4,549	3,924	4,167	4,574
搬送人員		4,008	4,175	4,192	4,310	4,399	4,646	4,637	3,972	4,221	4,623
内訳	男性	2,297	2,351	2,355	2,447	2,445	2,597	2,537	2,262	2,315	2,579
	女性	1,711	1,824	1,837	1,863	1,954	2,049	2,100	1,710	1,906	2,044
病程度	死亡	139	113	103	79	68	85	94	88	85	94
	重症	287	323	369	456	426	468	466	452	450	428
	中等症	1,690	1,736	1,905	2,085	2,195	2,279	2,344	2,092	2,190	2,408
	軽症	1,892	2,003	1,815	1,690	1,709	1,814	1,733	1,340	1,496	1,693
	その他					1					

※傷病程度のその他は医師の診断のないものをいう。

※事故種別のその他には、転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他を含む。

## 東名高速道路月別・事故種別出動件数

令和4年

月 事故種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
火災													0
自然災害													0
水難事故													0
交通事故	2	1	11	7	9	3	4	10	8	5	6	2	68
労働災害		1			1			1					3
運動競技													0
一般負傷	2		2		2			1		1			8
加害													0
自損行為													0
急病	5	5	5	3	1	7	3	8	4	5	3	6	55
その他													0
合計	9	7	18	10	13	10	7	20	12	11	9	8	134

## 東名高速道路傷病程度別・事故種別搬送人員

令和4年

事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡												0
重症				3			1			5		9
中等症				24	1		1			13		39
軽症				49	2		5			29		85
その他												0
合計	0	0	0	76	3	0	7	0	0	47	0	133

## 東名高速道路救急出動10年間の推移

令和4年

区分	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R1年	R2年	R3年	R4年
出動件数	105	113	111	124	149	124	135	105	103	134
事故種別	火災		1			1				
	自然災害									
	水難事故									
	交通事故	52	61	37	48	56	56	58	60	55
	労働災害	2		1	1				3	1
	運動競技									
	一般負傷	11	7	12	12	18	4	9	6	4
	加害		1				1	1		
	自損行為	1		1	1		2	2		
	急病	39	43	60	62	74	61	64	35	43
その他							1	1		
搬送件数	95	99	96	110	131	109	111	92	86	
搬送人員	125	116	113	128	170	126	139	109	93	
内訳	男性	75	80	77	81	101	85	78	77	
	女性	50	36	36	47	69	41	61	32	
傷病程度	死亡	2	1	3	1	2	1	2	1	
	重症	4	3	5	4		7	7	7	
	中等症	23	26	31	39	62	45	35	38	
	軽症	96	86	74	84	106	73	95	63	
	その他									

※傷病程度のその他は医師の診断のないものをいう。

※事故種別のその他には、転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他を含む。

※上記統計には、新東名高速道路を含む。

## 救助業務実施状況

令和4年

区分	年	R4年								R3年	
		件数	御殿場市		小山町		東名高速道路		管轄外		件数
			件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	
出動件数	50	26	52.0%	14	28.0%	9	18.0%	1	2.0%	58	
活動件数	39	19	48.7%	14	35.9%	5	12.8%	1	2.6%	43	
救助人員	38	17	44.7%	15	39.5%	5	13.2%	1	2.6%	47	
出動車両数	146	68	46.6%	41	28.1%	33	22.6%	4	2.7%	210	
出動延べ人員	427	201	47.1%	116	27.2%	98	23.0%	12	2.8%	603	

※管轄外とは御殿場市、小山町、東名高速道路を除く地域（神奈川県、山梨県、裾野市等）

## 救助業務事故種別・曜日・祝日等別出動件数

令和4年

事故種別	曜日	合計	曜日							祝日等
			日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
合計		50	5	6	6	9	11	5	8	0
火災		0								
交通事故		18	3	3	1	3	5	1	2	
水難事故		5				3	2			
自然災害		0								
機械等による事故		0								
建物等による事故		1						1		
ガス事故・酸欠事故		0								
破裂事故		0								
その他		26	2	3	5	3	4	3	6	

※祝日等は内数として表示

## 時間別救助出動状況

令和4年

時間	合計	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
件数	50	2	2	1	3	4	7	10	5	9	3	2	2



## 8 消 防 団

御殿場市消防団は団員 340 名、内女性本部団員 15 名、消防ポンプ自動車 26 台・林野火災工作車 1 台の近代的な装備と機動力を備えている。また、消防団活性化対策専門部会を設置し、時代に即した消防団を目指して活性化を推進する。

小山町消防団は団員 167 名、内女性本部団員 9 名、消防ポンプ自動車 7 台と火災予防火広報車 1 台の体制で地域の防火・防災活動に取り組んでいます。女性団員にあっては、防火広報や一人暮らし高齢者の防火指導及び幼児向けの花火教室、応急手当普及員取得を活かし、講師として救命講習会開催などの活動を展開しています。

今後も、消防団活動の拠点として車庫・詰所の整備並びに車両更新を計画的に推進し、住民には消防団活動の啓蒙を図り、地域に密着した組織としての活性化並びに住民の防火意識高揚に努めていきます。



(小山町消防団 ポンプ車操法)

## 御殿場市消防団沿革

昭和30年2月11日、御殿場町、富士岡村、原里村、玉穂村及び印野村の1町4村の合併により御殿場市が誕生した。それに伴って消防団も合併し、御殿場市消防団として発足した。旧御殿場町を第1分団、旧富士岡村を第2分団、旧原里村を第3分団、旧玉穂村を第4分団、旧印野村を第5分団とし、団員611名、ポンプ自動車8台、可搬式ポンプ20台、腕用ポンプ29台で活動を開始した。

昭和31年1月1日に高根村が御殿場市と合併し、第6分団となり、団員733名、ポンプ自動車9台、可搬式ポンプ27台、腕用ポンプ29台となった。翌年の昭和32年9月1日に北郷村の古沢地区が御殿場市に合併し、消防団も第6分団に編入され、団員746名、ポンプ自動車9台、可搬式ポンプ28台、腕用ポンプ29台となった。

昭和40年4月1日、御殿場市消防本部・消防署が設置された。それに伴い消防団は消防団と各地区の火防隊とに再編成された。消防団は団員376名、ポンプ自動車11台、可搬式ポンプ15台の少数精鋭を図った編成替えとなり、その後逐次可搬式ポンプをポンプ自動車に切り替え、ポンプ自動車26台、林野火災工作車1台の計27台の近代的な装備と機動力を備えている。

平成23年4月1日、男女共同参画社会及び消防団員の活性化事業の一環としての女性消防団員登用に伴い、御殿場市消防団員の条例定員を376名から396名に改め、更に、出動費用弁償の内、水火災時の出動手当を1,500円から2,000円に改める条例の一部改正を行った。

平成25年4月1日、消防団員のサラリーマン化を受け、平日昼間の建物火災への対応として、機能別団員制度を導入し、現在340名（女性団員15名）のうち、33名の機能別団員が在籍している。また、運転免許制度の改定等に伴い、平成25年度納車のポンプ自動車よりオートマチック車の導入を開始した。

平成28年度4月1日、地域力の向上と御殿場市消防団員の継続的な確保を目的として、御殿場市に存在する事業所等が消防団員等に対する支援等を行う御殿場市消防団サポート事業制度を制定し、消防団の活性化を図る。

平成31年4月1日、大災害対応をはじめ、地域防災力の要として、消防団の役割と重要性が改めて注目される中で、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行されたこと、また、団員確保のための方策として、団員報酬額を国で目安とする水準まで引き上げた。

令和2年4月1日、道路交通法改正に伴い消防ポンプ自動車が運転可能な準中型免許取得及びAT限定解除に関する補助制度として、「御殿場市消防団自動車運転免許取得補助金交付要綱」を制定し、消防ポンプ自動車を運転可能な機関員の確保に努め、消防力の向上を図った。

令和4年4月1日、「団員の活動や労苦に応じた報酬体系となるよう報酬制度を創設すること」とされたことから、「出動費用弁償」から「出動報酬」に改め、国の定める標準額の水準まで引き上げた。

## 小山町消防団沿革

昭和23年1月1日、小山町消防団は第1分団と第2分団で発足した。管轄区域は第1分団が生土、音漕、落合、藤曲、中島、柳島及び湯船。第2分団は、菅沼、茅沼、南藤曲、大脇及び上合を担当した。当時の団員は団長以下95名、ポンプ自動車2台で活動した。

昭和28年1月16日に新しく第3分団を設置し、管轄区域を藤曲、南藤曲、中島、柳島及び湯船とした。

昭和30年4月1日に足柄村と合併し、旧足柄村を第4分団とし、分団長以下50名の団員とポンプ自動車1台、腕用ポンプ1台で活動を開始した。

昭和31年8月1日に北郷村と合併し、旧北郷村を第5分団、第6分団とし、分団長以下25名の団員とポンプ自動車1台、腕用ポンプ4台で活動を開始した。同年9月30日、須走村と合併し旧須走村を第7分団とし、分団長以下40名の団員と手引動力ポンプ1台、腕用ポンプ2台で活動を開始した。

平成22年5月1日、男女共同参画社会及び消防団員の活性化事業の一環として女性消防団員が発足し団本部に籍を置き活動を開始した。

平成23年3月には団本部に火災予防広報車を配備した。

平成6年以降6つの分団詰所を新設した。

令和2年4月1日、南海トラフ地震や、神奈川西部沖地震などの大規模地震および富士山噴火等の大規模災害が懸念されるなか、消防団員OBを活用した機能別団員制度を導入した。

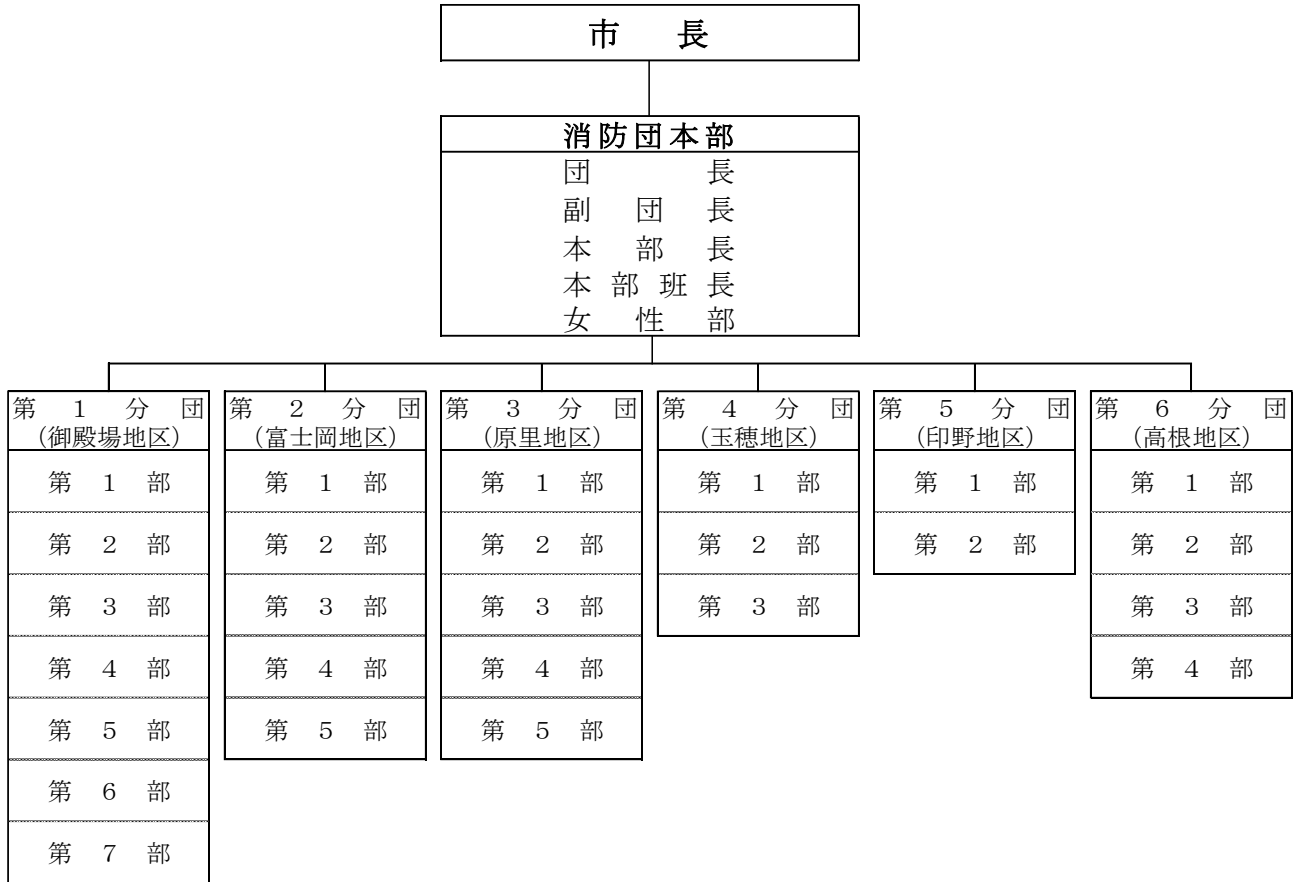
令和5年4月1日、消防団員の処遇改善を図るため、出動費用弁償を廃止し出動報酬を創設、支給額を国が定める基準額に引き上げる条例の一部改正を行った。

消防ポンプ自動車については、運転免許制度の改定等に伴い、平成16年度以降シャシをCD-IIから小型化するため全ての車両を車種替えし、平成30年度よりCD-Iのオートマチック車の導入を開始した。

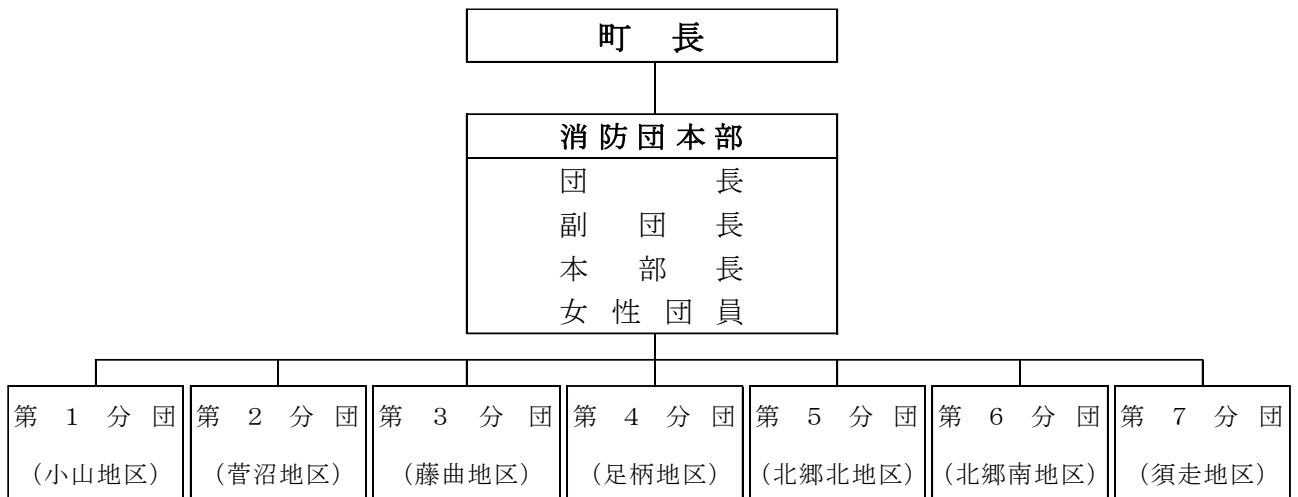
団員条例定数188名（令和5年4月1日現在167名）、ポンプ自動車7台、火災予防広報車1台で防火及び水防体制に万全を期している。

# 消防団機構図

## 御殿場市



## 小山町



# 令和5年度非常備消防費当初歳出予算

(単位：千円)

目	節	御 殿 場 市			小 山 町		
		令和5年度	令和4年度	比 較	令和5年度	令和4年度	比 較
非常備 消防費		104,157	85,979	18,178	54,756	72,874	△ 18,118
	報 酬	26,026	15,866	10,160	26,056	8,301	17,755
	職 員 手 当 等	848	848	0	300	300	0
	共 済 費	8,971	8,977	△ 6	96	48	48
	災 害 補 償 費	120	120	0	100	100	0
	恩 給 及 び 退 職 年 金			0	2,568	2,568	0
	賃 金			0			0
	報 償 費	8,473	14,467	△ 5,994	3,000	2,016	984
	旅 費	195	8,196	△ 8,001	431	13,751	△ 13,320
	交 際 費	25	25	0	100	100	0
	需 用 費	18,306	12,795	5,511	11,869	7,283	4,586
	役 務 費	1,419	1218	201	763	887	△ 124
	委 託 料	80	76	4	652	557	95
	使用料及び賃借料	1,833	1,834	△ 1	314	933	△ 619
	工 事 請 負 費			0			0
	公 有 財 産 購 入 費			0			0
	原 材 料 費			0			0
	備 品 購 入 費	17,397	944	16,453	1,531	29,012	△ 27,481
	負担金補助及び交付金	19,685	19,861	△ 176	6,848	6,756	92
	公 課 費	779	752	27	128	262	△ 134
消 防 施 設 費		16,771	19,782	△ 3,011	4,659	36,601	△ 31,942
	職 員 手 当 等	15	15	0			0
	旅 費			0			0
	需 用 費	3,389	859	2,530	945	945	0
	役 務 費			0			0
	委 託 料	179	179	0	3,000	35,000	△ 32,000
	使用料及び賃借料			0	4	4	0
	工 事 請 負 費			0			0
	原 材 料 費	580	580	0	710	652	58
	備 品 購 入 費			0			0
	負担金補助及び交付金	12,608	18,149	△ 5,541			0
	償 還 金			0			0
	公 課 費			0			0
	公 有 財 産 購 入 費			0			0

# 消防団員階級別年齢

令和5年4月1日現在

年齢	階級	合計	団長	副団長	分団長 (本部長 含む)	副分団長 (副本部長 含む)	部長 (本部班長 含む)	班長	団員 (機能別 団員含む)
合計		507	2	5	24	13	41	86	336
御 殿 場 市	20歳未満	0							
	20歳～24歳	21							21
	25歳～29歳	71						6	65
	30歳～34歳	95					4	27	64
	35歳～39歳	80			1		11	28	40
	40歳～44歳	37					14	5	18
	45歳～49歳	19			6	4	3	2	4
	50歳～54歳	8			4	2	1	1	
	55歳～59歳	6	1	2	1				2
	60歳～64歳	3							3
	65歳以上	0							
小計	340	1	2	12	6	33	69	217	
小 山 町	20歳未満	1							1
	20歳～24歳	9							9
	25歳～29歳	14							14
	30歳～34歳	24							24
	35歳～39歳	30						2	28
	40歳～44歳	38				1	1	9	27
	45歳～49歳	24			5	4	6	6	3
	50歳～54歳	12			5	2	1		4
	55歳～59歳	12	1	3	2				6
	60歳～64歳	2							2
	65歳以上	1							1
小計	167	1	3	12	7	8	17	119	

# 消防団員階級別勤続年数

令和5年4月1日現在

市 町 別	階級	合計	団長	副団長	分団長 (本部長 含む)	副分団長 (副本部長 含む)	部長 (本部班長 含む)	班長	団員 (機能別 団員含む)
合計		507	2	5	24	13	41	85	337
御 殿 場	5年未満	115						3	112
	5年以上～10年未満	127			1	2	18	38	68
	10年以上～15年未満	81			8	3	12	24	34
	15年以上～20年未満	12		1	3	1	3	1	3
	20年以上～25年未満	3						2	1
市	25年以上～30年未満	2	1	1					
	30年以上	0							
小計	340	1	2	12	6	33	68	218	
小 山 町	5年未満	41							41
	5年以上～10年未満	35							35
	10年以上～15年未満	36			1		2	5	28
	15年以上～20年未満	29			4	2	3	7	13
	20年以上～25年未満	17			3	4	3	5	2
	25年以上～30年未満	5			4	1			
	30年以上	4	1	3					
小計	167	1	3	12	7	8	17	119	

令和5年4月1日現在

## 出動報酬

(単位：円)

区分	支給単位	金額		備考
		御殿場市	小山町	
水 火 災 の 場 合	4 時間以上	8,000	8,000	
	4 時間未満	4,000	4,000	
警 戒 の 場 合	4 時間以上	3,500	3,500	1回が1日以上にわたるときは1日単位とする。
	4 時間未満	2,000	2,000	
訓 練 の 場 合	4 時間以上	3,500	3,500	
	4 時間未満	2,000	2,000	
技術職務に従事する場合	年 額			主として自動車運転手として年間従事する者に支給する。

令和5年4月1日現在

## 年額報酬

(単位：円)

階級 市町別	団 長	副 団 長	本 部 長	副 本 部 長	本 部 班 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	機 能 別 員 団
御 殿 場 市	82,500	69,000	50,500	45,500	38,000	50,500	45,500	38,000	37,000	36,500	20,000
小 山 町	82,500	69,000	56,000			50,500	45,500	40,000	37,000	36,500	20,000

## 消防団編成及び装備

令和5年4月1日現在

区分 市町別	階 級											機 械			
	合 計	団 長	副 団 長	本 部 長	副 本 部 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	本 部 班 長	班 長	団 員 (機能別消防団員含)	自 動 車 消 防 ポ ンプ	そ の 他 の 車 両	可 搬 式 搬 載 機 用 (ポンプC-1)	車 両 計
御 殿 場 市	定 数	396										26	4	27	30
	団 員 数	340	1	2	6	0	6	6	27	6	69	217			
	団 本 部	30	1	2	6				1	6	3	11	3		3
	第 1 分 団	89						1	1	7	18	62	7	7	7
	第 2 分 団	46						1	1	5	10	29	5	5	5
	第 3 分 団	53						1	1	5	13	33	5	5	5
	第 4 分 団	35						1	1	3	9	21	3	3	3
	第 5 分 団	37						1	1	2	6	27	2	1	3
第 6 分 団	50						1	1	4	10	34	4	4	4	
小 山 町	定 数	188										7	1	7	8
	団 員 数	167	1	3	5		7	7	8	2	15	119			
	団 本 部	18	1	3	5				1	2		6	1		1
	第 1 分 団	24					1	1	1		3	18	1	1	1
	第 2 分 団	18					1	1	1		2	13	1	1	1
	第 3 分 団	17					1	1	1		2	12	1	1	1
	第 4 分 団	22					1	1	1		2	17	1	1	1
	第 5 分 団	20					1	1	1		2	15	1	1	1
第 6 分 団	20					1	1	1		2	15	1	1	1	
第 7 分 団	28					1	1	1		2	23	1	1	1	

# 消防団車両配備

令和5年4月1日現在

市町村	名称	部名	所在地	車名	登録年月	経過年	艀装会社	車種	排気量	ポンプ規格
御 殿 場 市	御殿場市消防団本部		東田中	トヨタ	H15.6	18	-	ワゴン	2.970	-
				スバル	H19.2	15	-	ワゴン	1.990	-
				ダイハツ	H24.5	9	-	軽貨物	0.650	-
	第1分団	第1部	御殿場	三 菱	H28.1	6	畠山	CD- I	4.560	A-2
		第2部	深 沢	日 野	H19.2	15	畠山	CD- I	4.000	〃
		第3部	新 橋	日 野	H21.2	13	畠山	CD- I	4.560	〃
		第4部	湯 沢	日 野	H20.2	14	モリタ	CD- I	4.000	〃
		第5部	二枚橋	日 野	H20.2	14	モリタ	CD- I	4.000	〃
		第6部	仁 杉	いすゞ	H29.2	5	畠山	CD- I	2.990	〃
		第7部	東 山	いすゞ	R2.1	2	畠山	CD- I	2.990	〃
	第2分団	第1部	中 山	日 野	H18.2	16	畠山	CD- I	4.000	〃
		第2部	竈	いすゞ	H30.2	4	畠山	CD- I	2.990	〃
		第3部	大 坂	三 菱	H27.2	7	畠山	CD- I	3.560	〃
		第4部	駒 門	いすゞ	H31.1	3	畠山	CD- I	2.990	〃
		第5部	神 山	いすゞ	H26.3	8	畠山	CD- I	2.990	〃
	第3分団	第1部	森之腰	日 野	H23.3	11	畠山	CD- I	4.000	〃
		第2部	神 場	日 野	H24.2	10	畠山	CD- I	4.000	〃
		第3部	板 妻	日 野	H16.11	17	畠山	CD- I	4.000	〃
		第4部	保土沢	日 野	H23.3	11	畠山	CD- I	4.000	〃
		第5部	大 沢	日 野	H22.2	12	畠山	CD- I	4.000	〃
	第4分団	第1部	中 畑	いすゞ	H30.2	4	畠山	CD- I	2.990	〃
		第2部	茱萸沢	三 菱	H27.12	6	畠山	CD- I	4.560	〃
		第3部	滝ヶ原	いすゞ	H29.2	5	畠山	CD- I	2.990	〃
	第5分団	第1部	時之栖	日 野	H21.2	13	畠山	CD- I	4.560	〃
				いすゞ	H23.2	11	畠山	林野工作	2.990	-
	第2部	印 野	日 野	H18.2	16	畠山	CD- I	4.000	A-2	
				H19.2	15	畠山	CD- I	4.000	〃	
	第6分団	第1部	塚 原	日 野	H19.2	15	畠山	CD- I	4.000	〃
		第2部	古 沢	三 菱	H27.2	7	畠山	CD- I	3.560	〃
		第3部	上小林	日 野	H22.2	12	畠山	CD- I	4.000	〃
第4部		美乃和	日 野	H17.2	17	畠山	CD- I	4.000	〃	
小 山 町	小山町消防団本部		菅 沼	トヨタ	23.2	12	-	ワゴン	1.980	-
	第1分団	小 山	日 野	29.2	6	畠山	CD- I	4.000	A-2	
	第2分団	菅 沼	日 野	24.2	11	畠山	CD- I	4.000	〃	
	第3分団	藤 曲	日 野	23.2	12	畠山	CD- I	4.000	〃	
	第4分団	足 柄	いすゞ	R3.2	2	畠山	CD- I	2.990	〃	
	第5分団	北郷北	いすゞ	R5.3	0	畠山	CD- I	2.990	〃	
	第6分団	北郷南	いすゞ	30.12	4	畠山	CD- I	2.990	〃	
	第7分団	須 走	日 野	26.2	9	畠山	CD- I	4.000	〃	



## 令和4年版 消防年報

発行 令和5年6月  
編集 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部  
管理課 消防総務スタッフ  
住所 〒412-0026  
御殿場市東田中一丁目19番1号  
電話 0550-82-4628  
FAX 0550-82-7153  
E-mail

[syoubou-honbu1@gotemba-oyama-kouiki.jp](mailto:syoubou-honbu1@gotemba-oyama-kouiki.jp)

ホームページアドレス

<https://www.gotemaba-oyama-kouiki.jp/pages/204/>

